

岡山県のがんの現状

目 次

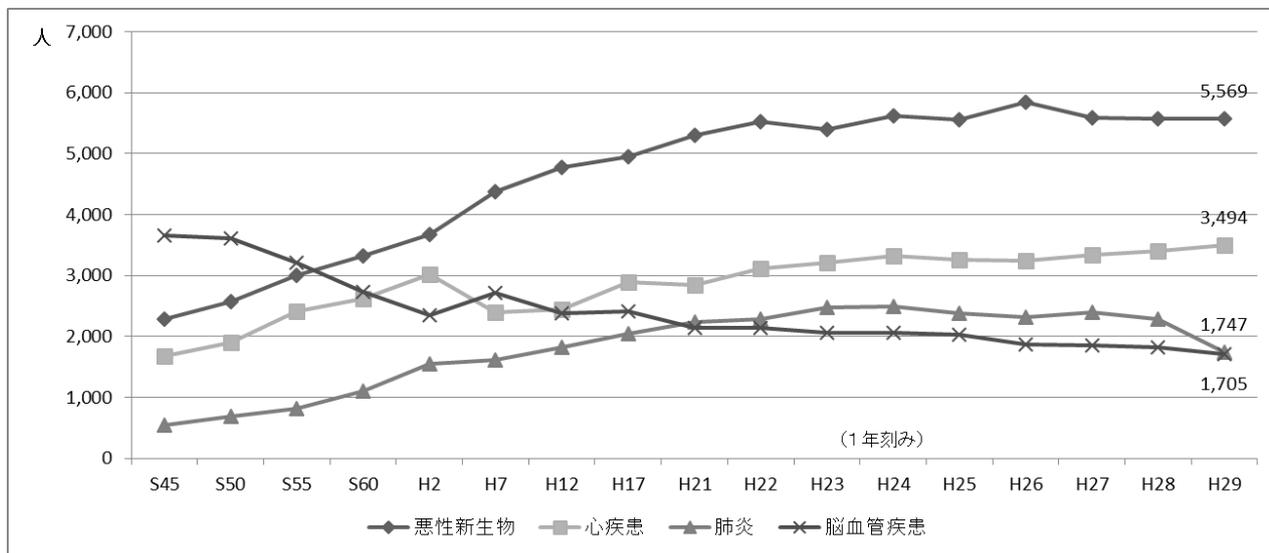
1	がんの死亡・罹患の状況	
(1)	がんによる死亡者数の推移	1
(2)	がんによる死亡の割合	1
(3)	がんの部位別死亡の状況	2
(4)	がんの年齢階級別（5歳階級）死亡者の状況	3
(5)	がんの死亡率の推移	4
(6)	がんの性別・部位別の粗死亡率	4
(7)	がんの性別・部位別年齢調整死亡率	5
(8)	がんの75歳未満年齢調整死亡率	7
(9)	がんによる在宅死亡の状況	9
(10)	がんの罹患数	9
(11)	がんの罹患率	10
(12)	小児がんの状況	12
2	がんの医療提供体制の状況	
(1)	がん治療の提供体制	14
(2)	県・地域がん診療連携拠点病院等の整備状況	15
(3)	医療機関の連携等	17
3	がんの予防の状況	18
4	がん検診の状況	
(1)	がん検診の受診率	20
(2)	がん検診の質	22
5	がん患者の就労と療養に関する状況	26
	資料（数値データ）	28

1 がんの死亡・罹患の状況

(1) がんによる死亡者数の推移

悪性新生物（がん）は、昭和 57 年以降、継続して本県の死因の第 1 位となっています。平成 29 年では、がんによる死亡者数は 5,569 人となっています。

主な死因による死亡者数の推移

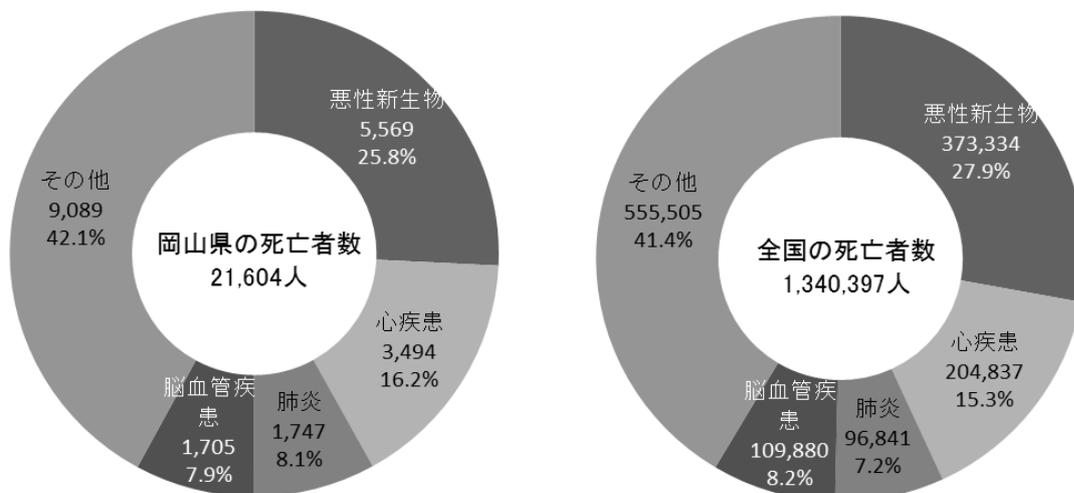


【出典：厚生労働省「平成 29 年人口動態統計」】

(2) がんによる死亡の割合

本県のがんによる死亡割合を見ると、平成 29 年は、21,604 人の死亡者のうち 25.8% ががんで亡くなっています。また、がんによる死亡者の割合は全国の 27.9% に比べ、やや低い状況です。

死亡者数及び割合（平成 29 年）



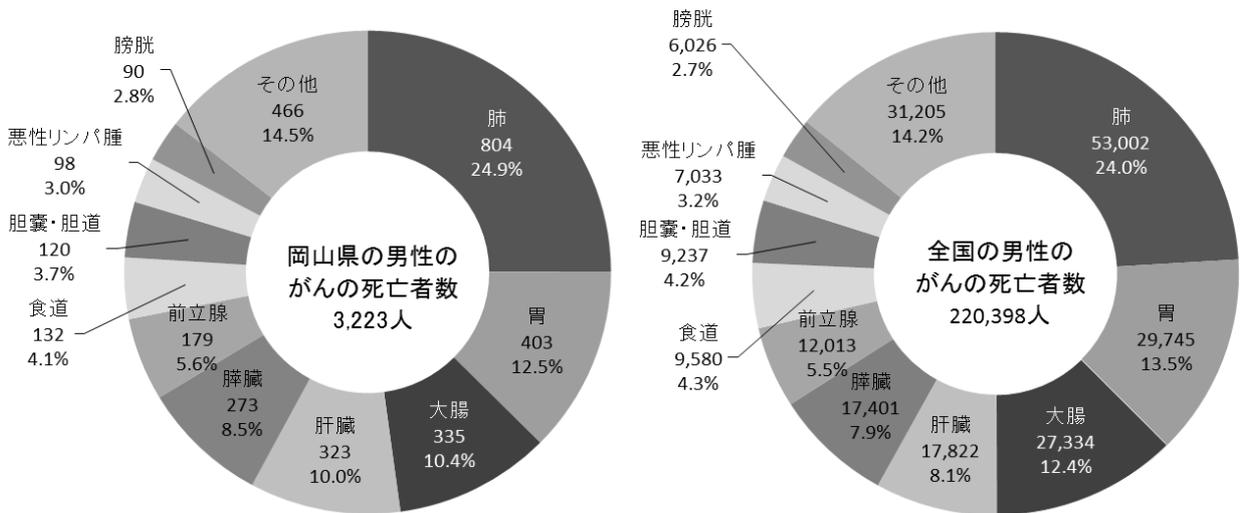
【出典：厚生労働省「平成 29 年人口動態統計」】

(3) がんの部位別死亡の状況

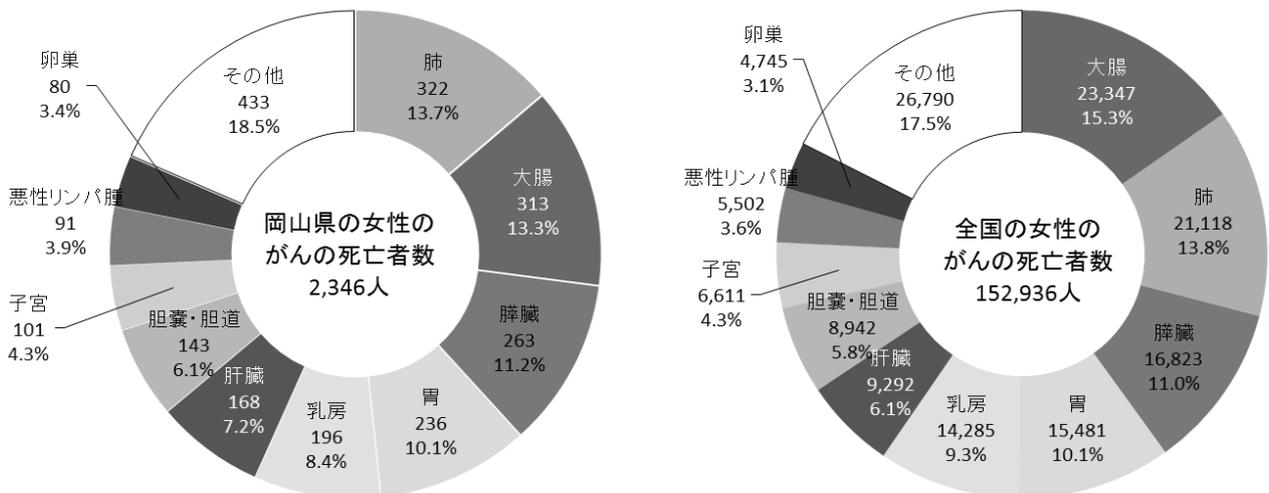
平成 29 年の本県におけるがんの死亡者数は、男性 3,223 人、女性 2,346 人と男性の方が多い状況です。

がんの部位別死亡者数を性別で見ると、男性では、本県、全国ともに「肺」「胃」「大腸」「肝臓」「膵臓」の順で多くなっています。女性では、本県は「肺」「大腸」「膵臓」「胃」「乳房」の順で、全国は「大腸」「肺」「膵臓」「胃」「乳房」の順で多くなっています。

男性の部位別死亡者数及び割合（平成 29 年）



女性の部位別死亡者数及び割合（平成 29 年）

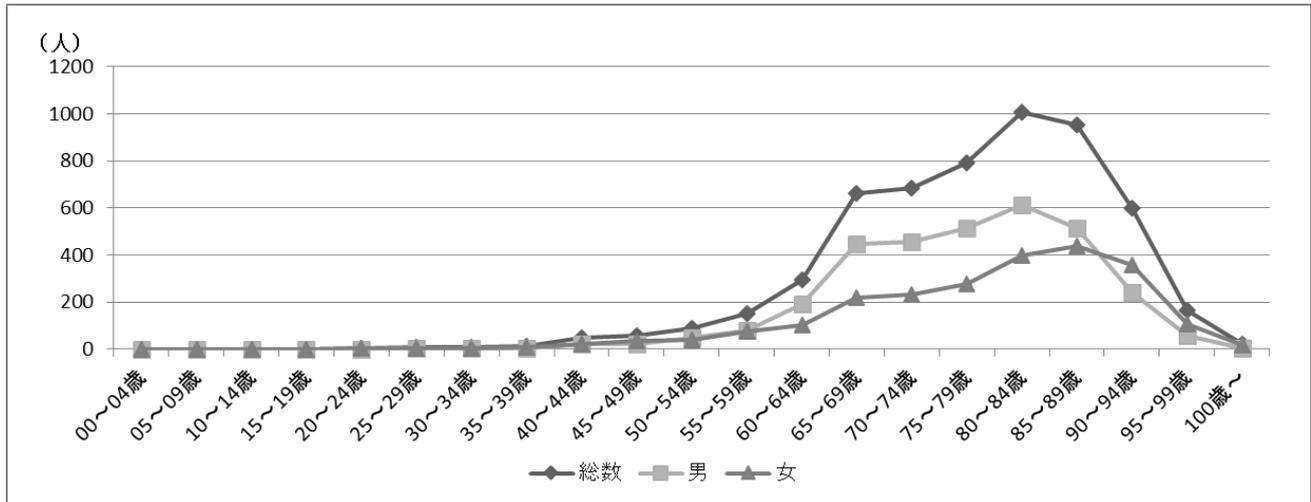


【出典：厚生労働省「平成 29 年人口動態統計」】

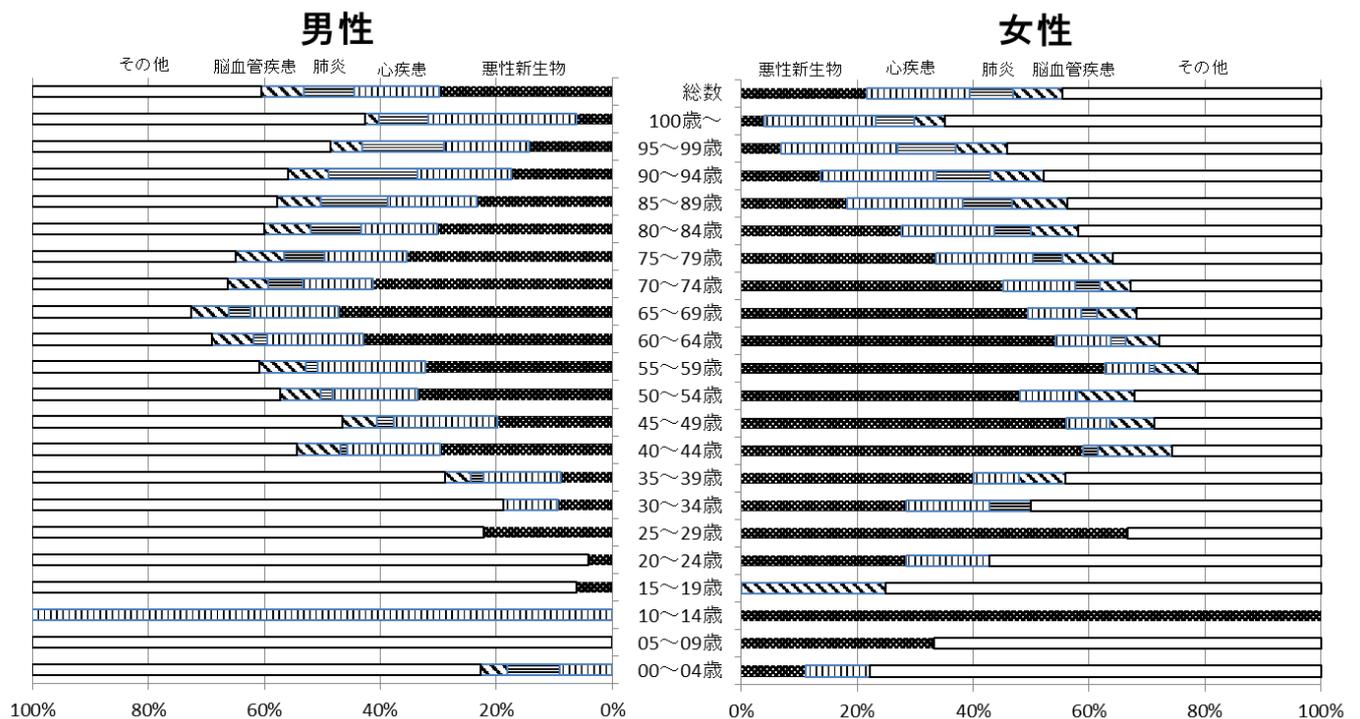
(4) がんの年齢階級別（5歳階級）死亡者の状況

がんによる年齢階級別の死亡者数は、80歳以上84歳以下が最も多くなっています。また、主な疾患等による年齢階級別死亡者の割合を性別で比較すると、がんによる死亡割合は、男性では65歳以上69歳以下が最も高く、女性では55歳以上59歳以下が高くなっています。

がんによる年齢階級別死亡者数（平成29年・岡山県）



主な疾患等による年齢階級別死亡者の割合（平成29年・岡山県）



【出典：厚生労働省「平成29年人口動態統計」】

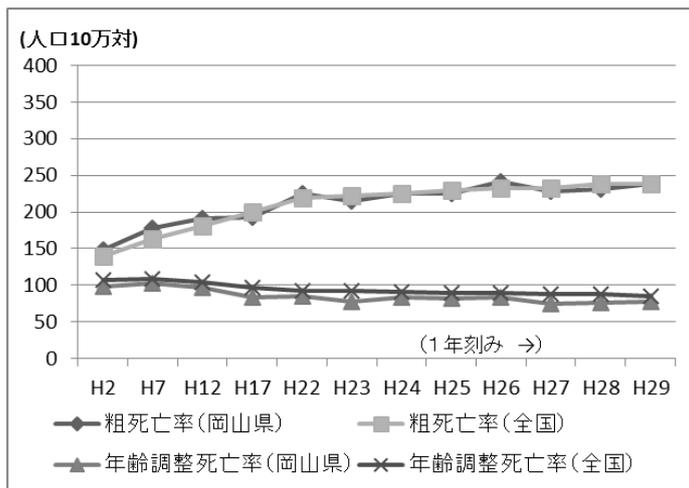
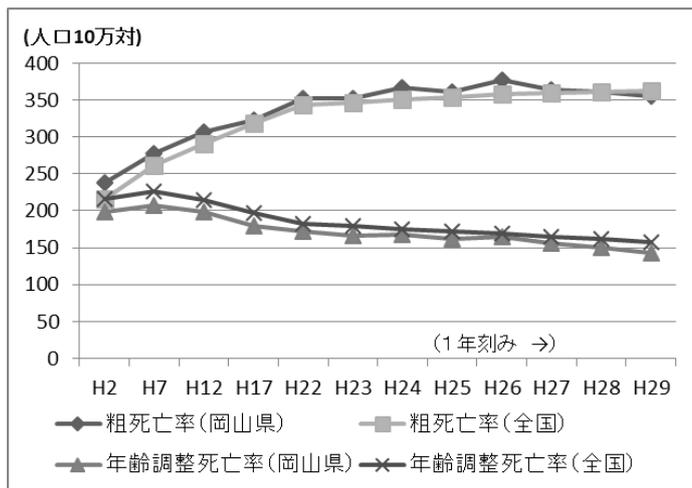
(5) がんの死亡率の推移

がんの死亡率（人口10万対）の推移を見ると、平成29年の本県の粗死亡率は、男性は前年より低下していますが、女性は上昇しています。また、全国については、男女とも上昇傾向となっています。また、年齢調整死亡率は、本県は、男女ともに全国を下回って推移しています。

性別死亡率の推移

男性

女性



【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

(6) がんの性別・部位別の粗死亡率

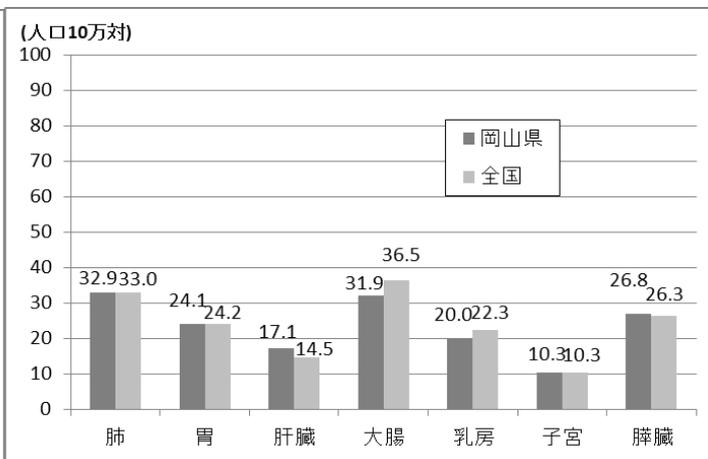
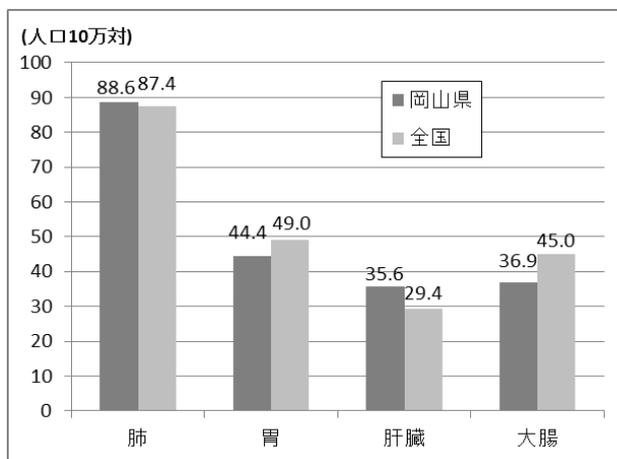
5大がん及び子宮がんの粗死亡率（人口10万対）を性別で見ると、本県では、男性は「肺」「胃」「大腸」、女性は「肺」「大腸」「膵臓」の順となっています。

また、男性は「肺」「肝臓」、女性は「肝臓」「膵臓」が全国よりも高くなっています。

性別部位別粗死亡率（平成29年）

男性

女性



【出典：厚生労働省「平成29年人口動態統計」】

「粗死亡率」は、一定期間の死亡数を単純にその期間の人口で割った死亡率です。一方、「年齢調整死亡率」は、基準人口を用いて人口構成が同じものとみなして算出する死亡率で、年齢構成が異なる集団間で比較する場合や同じ集団で死亡率の年次推移を見る場合に用いられます。

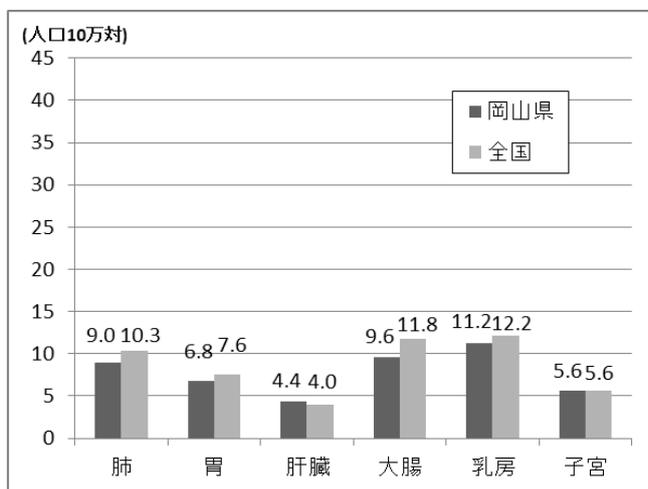
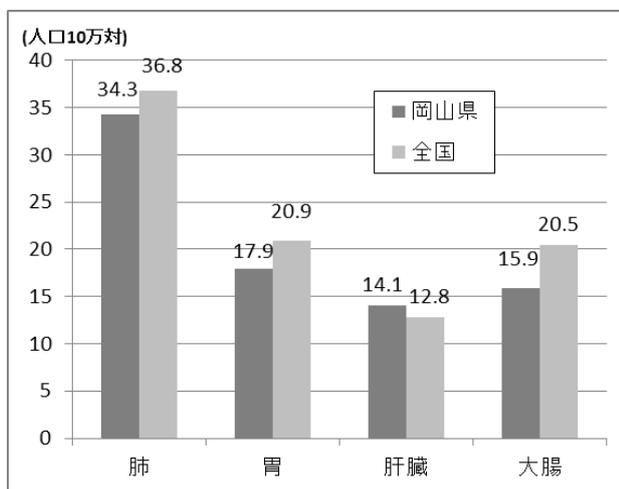
(7) がんの性別・部位別年齢調整死亡率

5大がん及び子宮がんの年齢調整死亡率（人口10万対）を性別で見ると、男性、女性ともには「肝臓」が全国よりも高くなっています。

性別部位別年齢調整死亡率（平成29年）

男性

女性



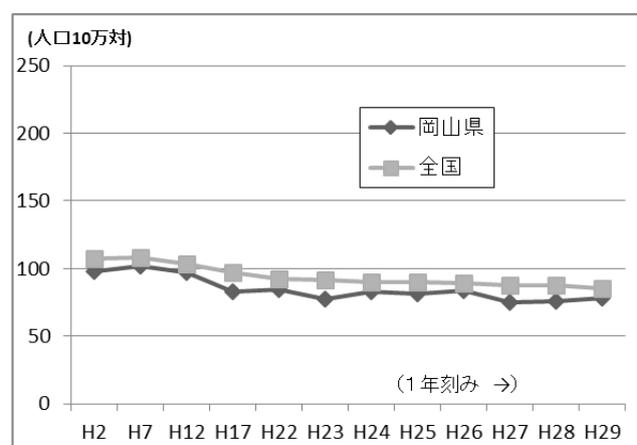
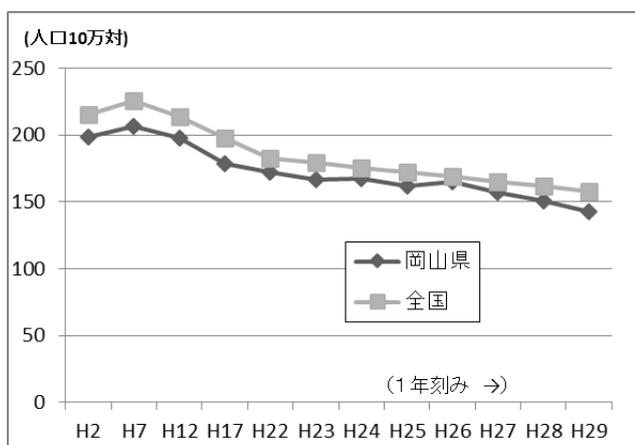
【出典：厚生労働省「平成29年人口動態統計」、岡山県推計】

全がん及び部位別の年齢調整死亡率の推移を見ると、本県は全国とほぼ同様の傾向を示しています。全がんでは男性は前年より下降していますが、平成29年度、女性はやや上昇しています。また、部位別では、子宮がんは上昇傾向にあります。また、男性の「肝がん」と女性の「乳がん」は前年より上昇していますが、そのほかは下降しています。

全がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

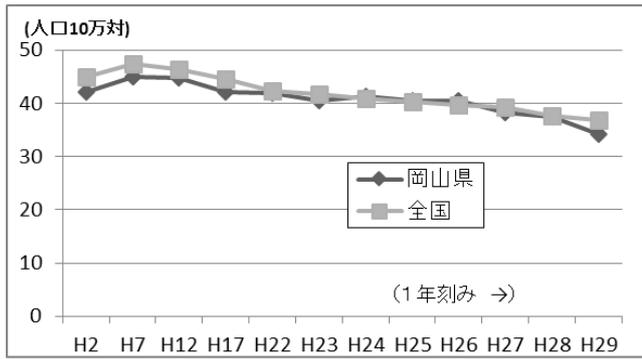
女性



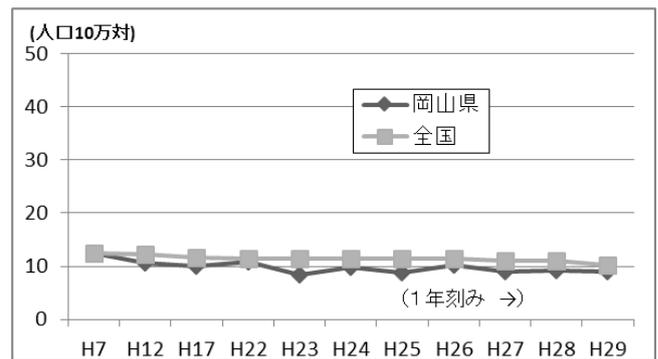
【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

肺がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

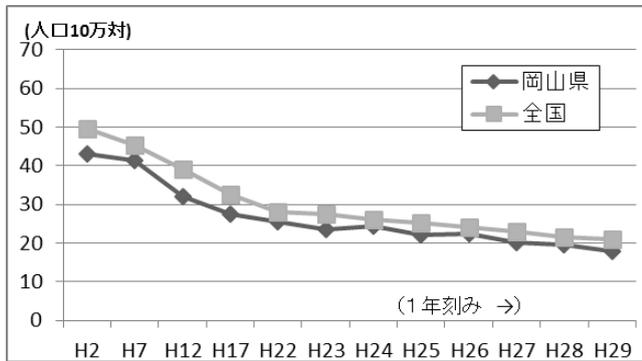


女性

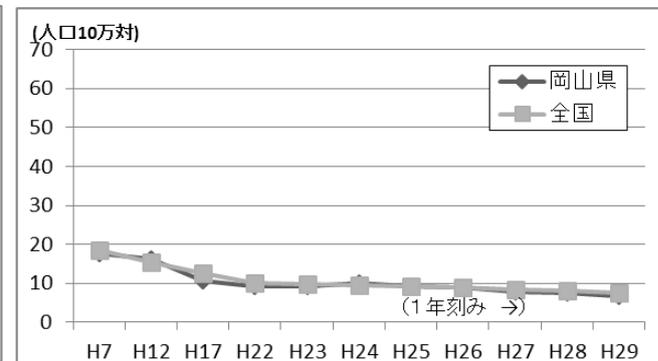


胃がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

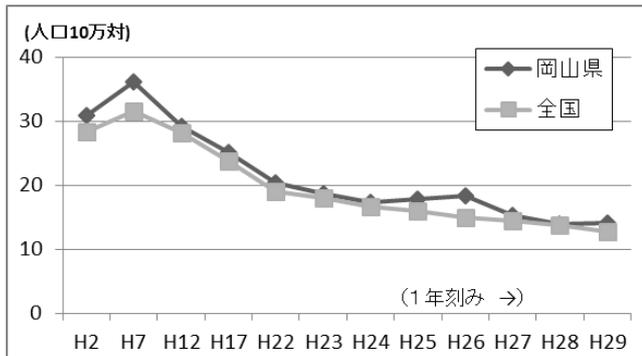


女性

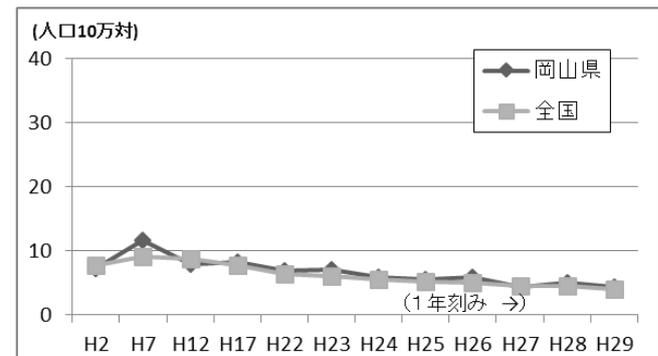


肝臓がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

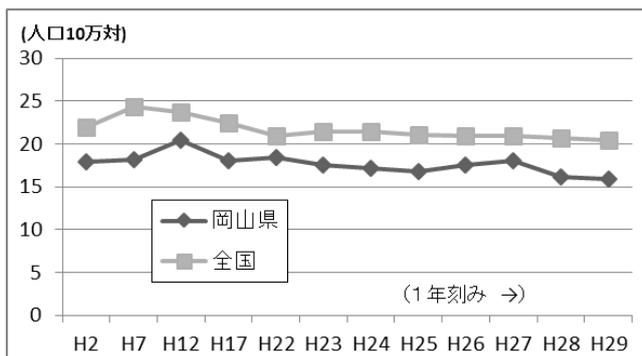


女性

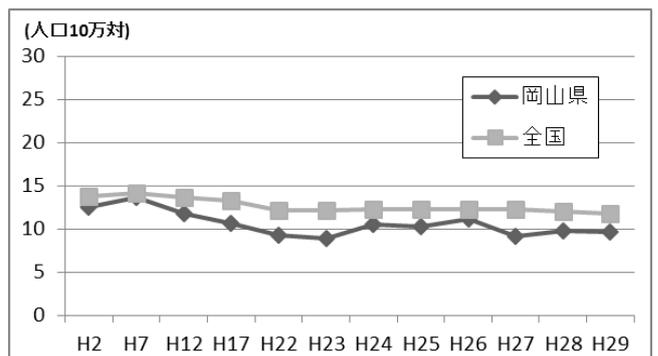


大腸がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

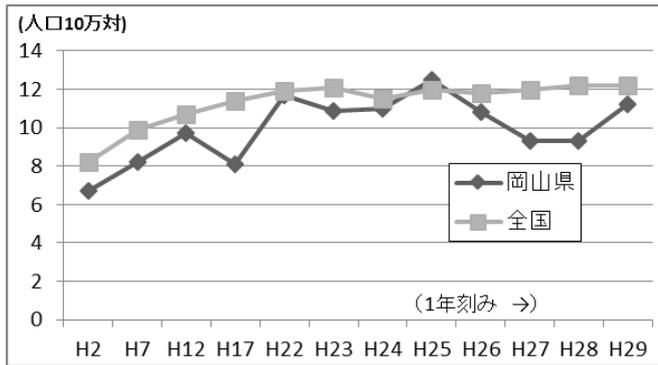


女性

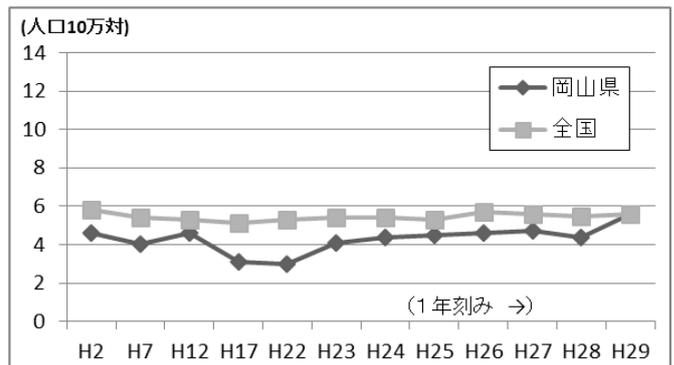


女性のがんの年齢調整死亡率の推移

乳がん

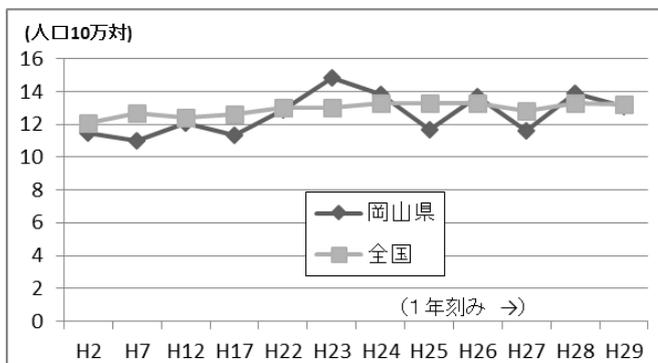


子宮がん

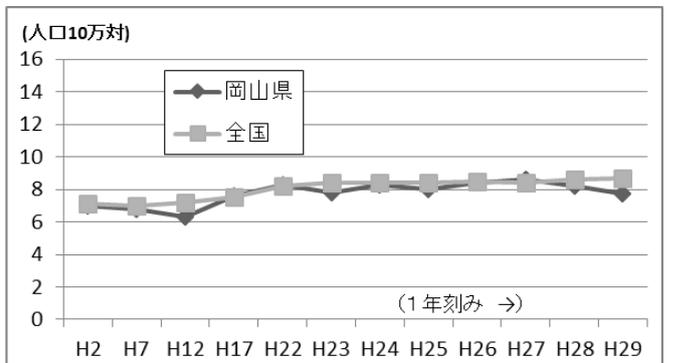


膵臓がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性



女性



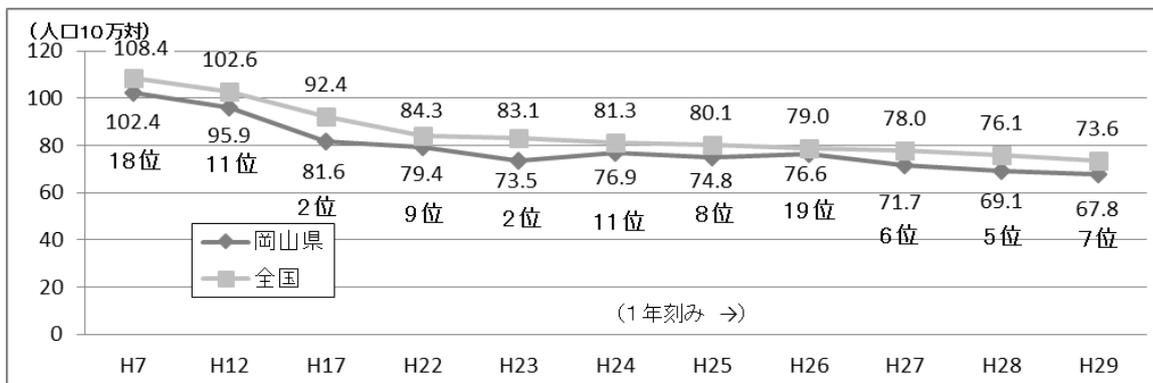
【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

(8) がんの75歳未満年齢調整死亡率

本県のがんの75歳未満年齢調整死亡率の推移を見ると、平成24年、26年はやや上昇したものの、総じて減少傾向にあります。平成29年は、67.8で全国の都道府県順で低い方から7位となっています。

また、平成29年について性別で見ると、男性は84.8で8位、女性は52.5で11位となっています。

75歳未満年齢調整死亡率の推移

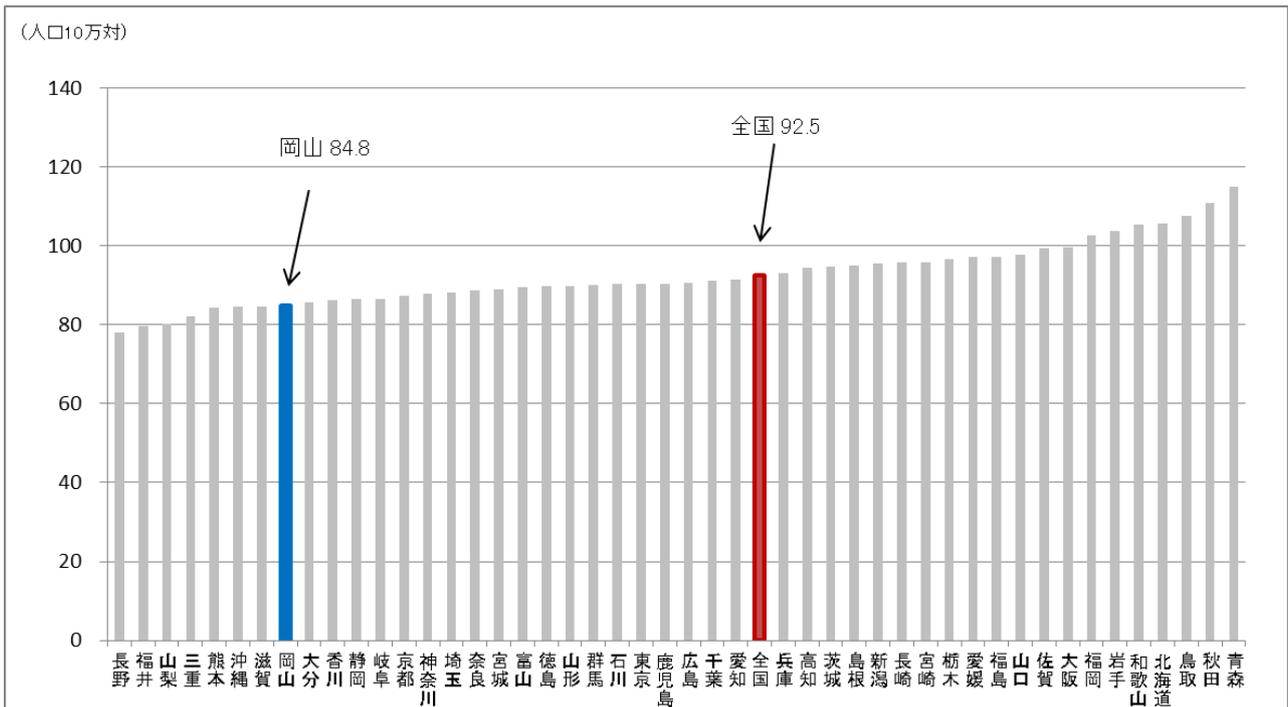


【出典：国立がん研究センターがん対策情報センター】

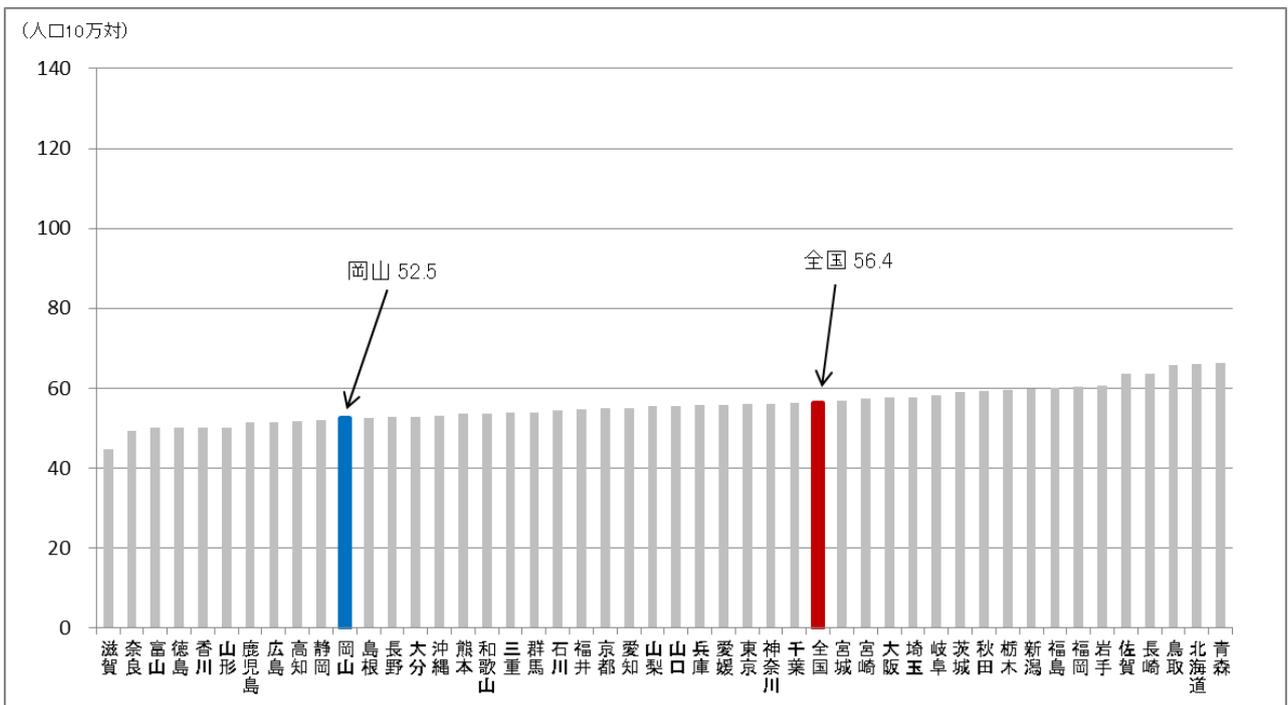
「75歳未満年齢調整死亡率」は、75歳以上の死亡を除くことで、壮年期死亡の状況を高い精度で把握しようとするものです。

性別都道府県別 75 歳未満年齢調整死亡率（平成 29 年）

男性



女性



【出典：国立がん研究センターがん対策情報センター】

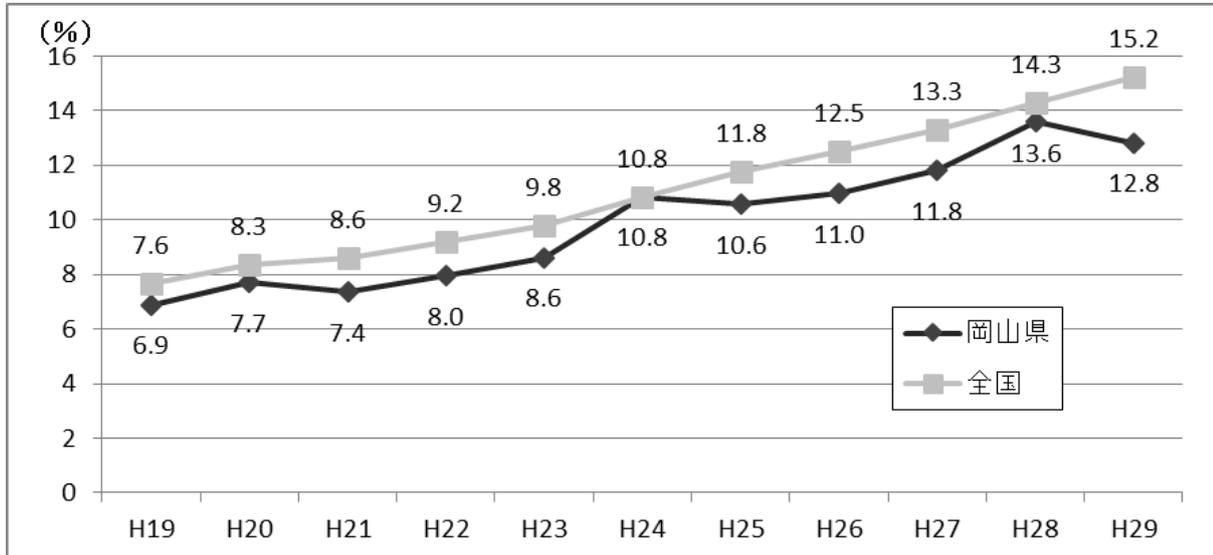
また、平成 29 年の 75 歳未満年齢調整率は 67.8 となり、第 2 次計画の目標 66.5 の達成には至りませんでした。

(9) がんによる在宅死亡の状況

本県のがんによる在宅死亡の割合を見ると、上昇傾向にはありますが、平成 29 年度は前年度より減少し、12.8%となっています。

(※ 在宅死亡は、自宅、老人ホーム及び老健施設での死亡の合計)

在宅死亡割合の推移



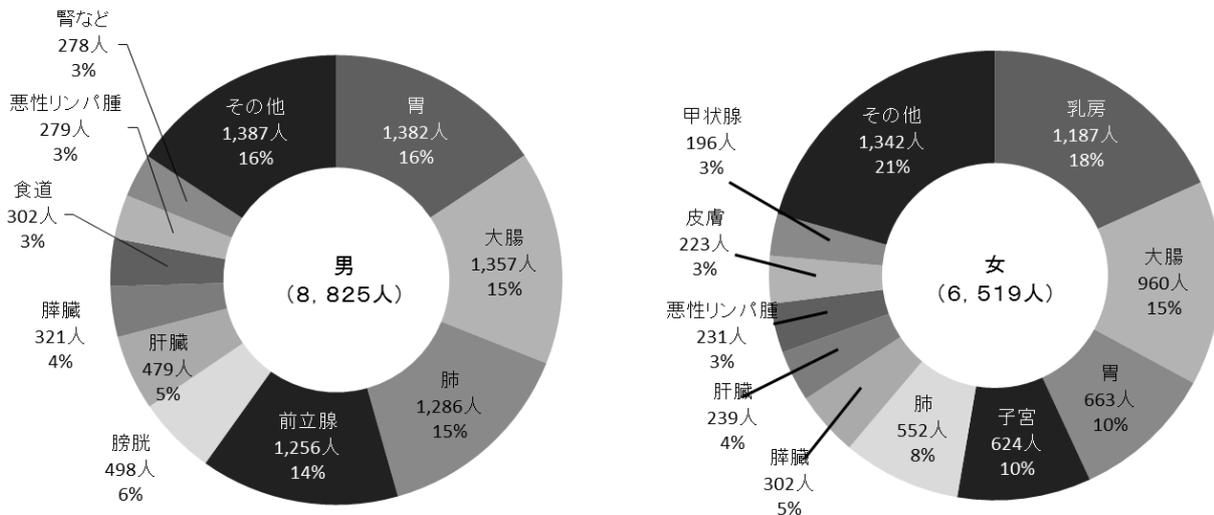
【出典：厚生労働省「人口動態統計」】

(10) がんの罹患数

がんの罹患数を主要 10 部位別に見ると、男性は「胃」1,382 人と最も多く、以下、「大腸」1,357 人、「肺」1,286 人の順となっています。また、女性は「乳房」が 1,187 人と最も多く、以下「大腸」960 人、「胃」663 人の順となっています。

※皮膚、乳房、子宮がん及び全部位総数においては上皮内がんを含む。

主要 10 部位別性別罹患数及び割合（平成 26 年）



【出典：「岡山県におけるがん登録 2014」】

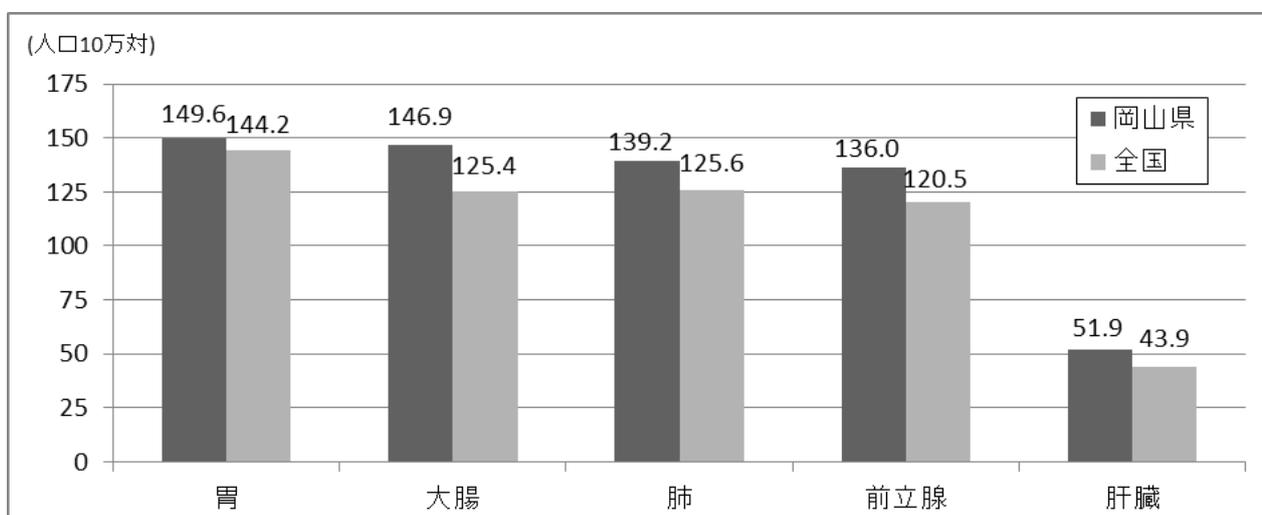
(11) がんの罹患率

本県と全国のがんの主要部位別罹患率を性別に見ると、男性は罹患率上位の全ての部位で全国よりも高くなっています。女性は、「大腸」「胃」「肝臓」で全国よりも高くなっています。

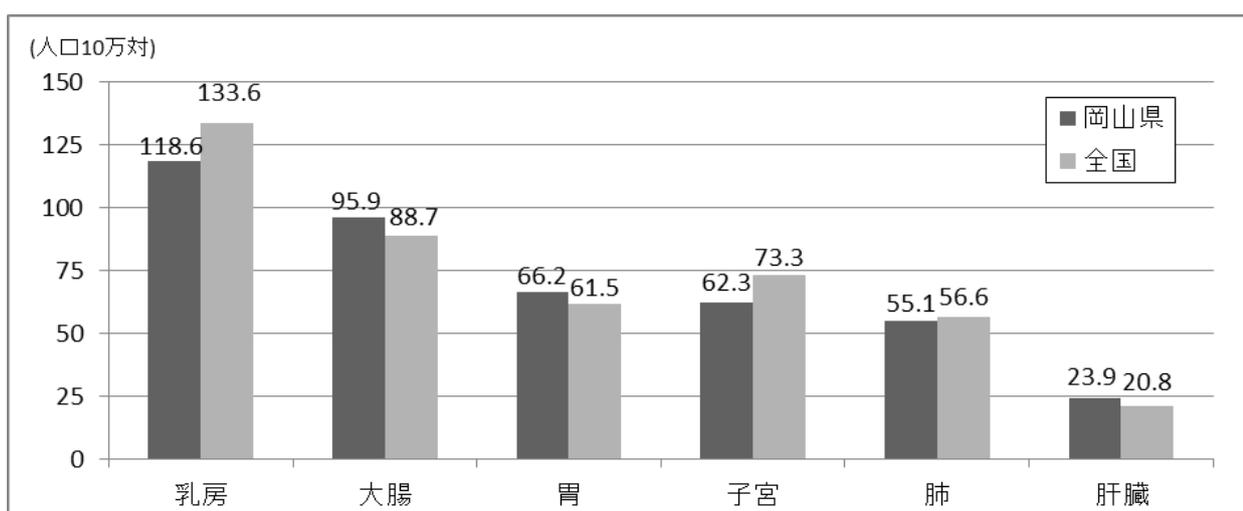
年齢階級別罹患率を性別に見ると、男性はほぼ 80 歳未満までは年齢が高くなるにつれて上昇しています。また、女性では「乳房」は 40 歳代からが高く、「子宮」は比較的若い世代から罹患率が上昇しはじめ、中でも 30 歳代から 50 歳代が高くなっており、他の部位とは異なった傾向が見られます。

「罹患」とは病気に罹ること、「罹患数」とは対象とする人口集団から、一定の期間に、新たに病気と診断された数のことです。また、「罹患率」とは、罹患数を、その集団のその期間の人口で割った値で、通常 1 年単位で算出され、「人口 10 万人のうち何例罹患したか」を表します。

男性の主要部位別罹患率（平成 26 年）

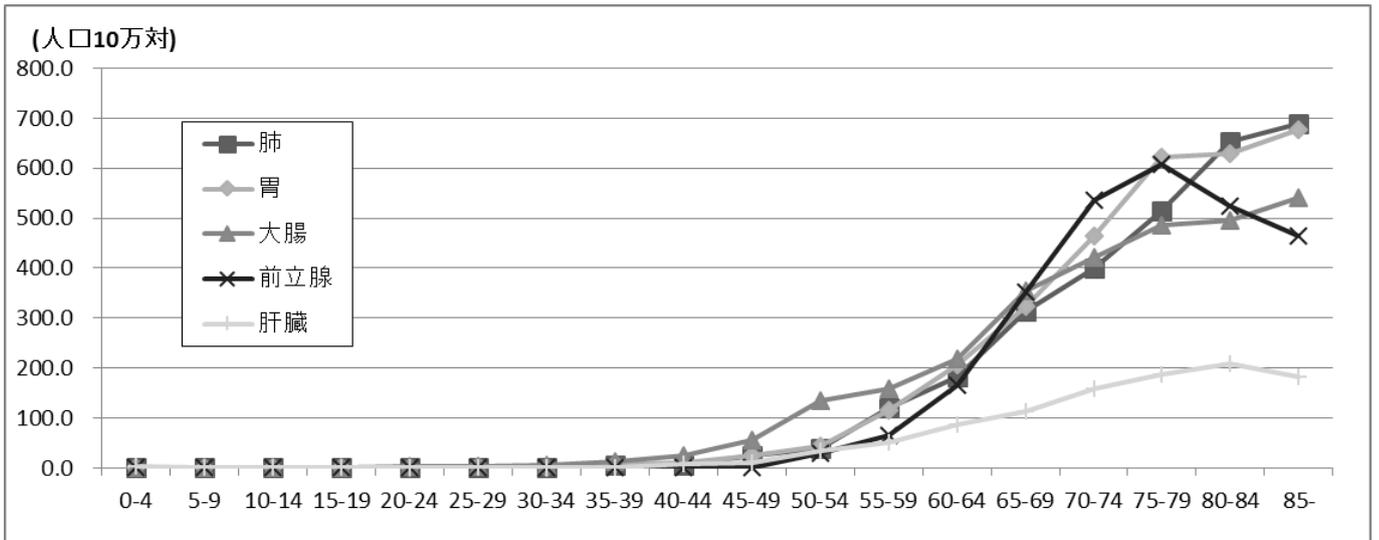


女性の主要部位別罹患率（平成 26 年）

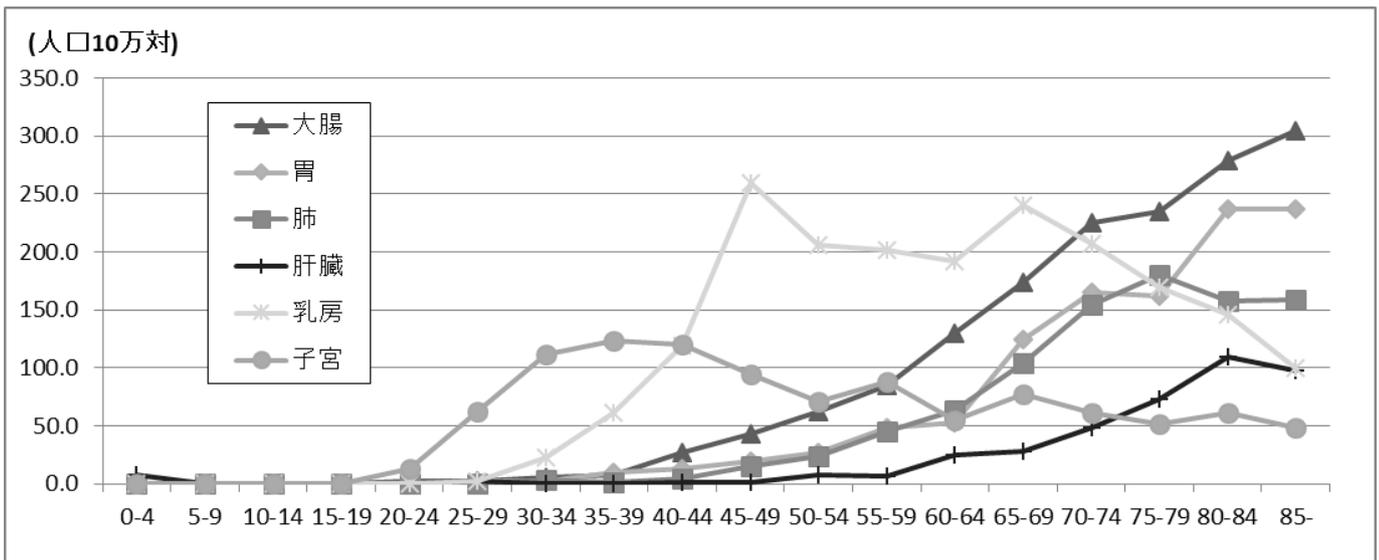


【出典：「岡山県におけるがん登録 2014」、国立がん研究センターがん対策情報センター】

男性の年齢階級別罹患率（平成 26 年）



女性の年齢階級別罹患率（平成 26 年）



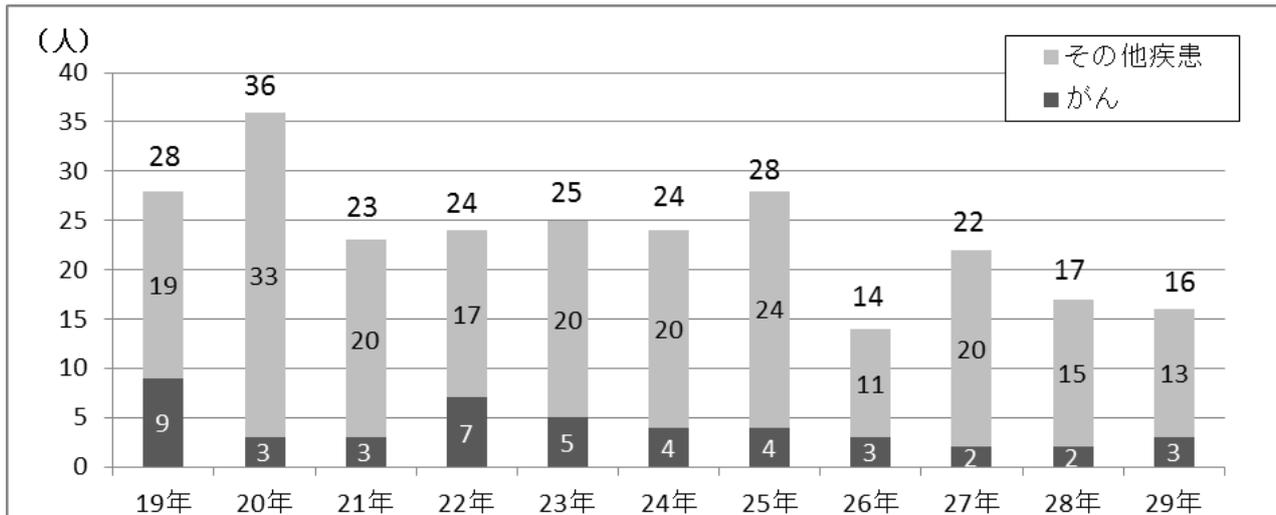
【出典：「岡山県におけるがん登録 2014」】

(12) 小児がんの状況

本県の疾患による15歳未満の死亡者数（周産期死亡、不慮の事故等を除く）を見ると、平成29年は16人で、そのうちがんによる死亡者数は3人となっています。

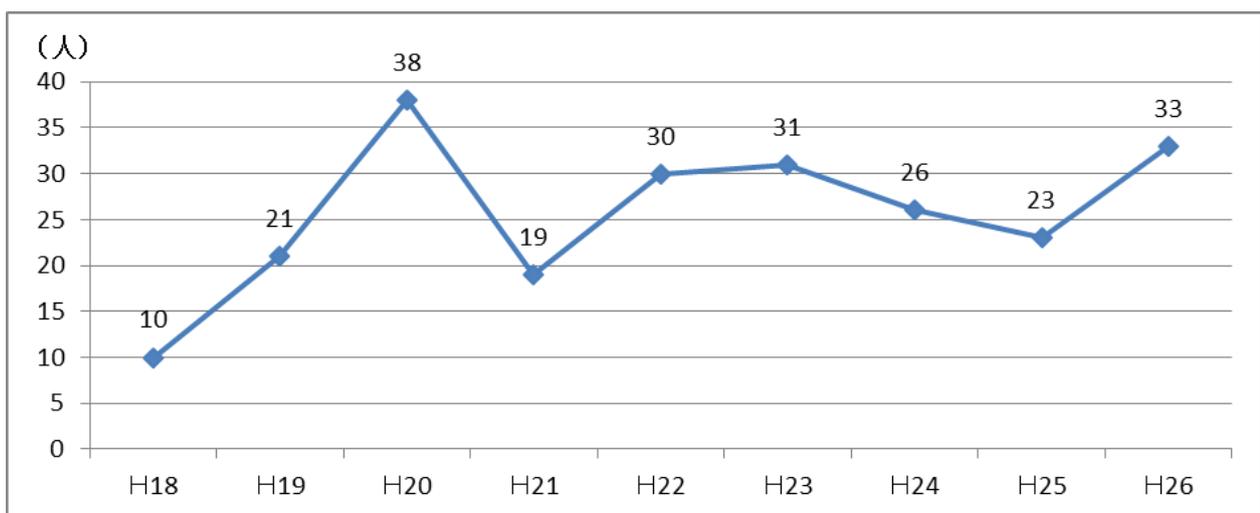
本県の15歳未満のがんの罹患数を見ると、平成26年は33人で、全がん罹患数に占める割合は0.22%となっています。また、これを部位別に見ると、「白血病」が12人、「脳・神経系」が8人、「悪性リンパ腫」が1人、「その他の部位」が12人となっています。

疾病による死亡者数の推移（15歳未満）（岡山県）



【出典：厚生労働省「人口動態統計」】

小児がん罹患数の推移（15歳未満）（岡山県）



【出典：「岡山県におけるがん登録」】

小児がんの罹患数及び全体に占める割合（15歳未満）

小児がんの罹患数及び全体に占める割合（15歳未満）			
年	全がん罹患数	小児がん罹患数	小児がんの割合
H18	9,843人	10人	0.10%
H19	10,936人	21人	0.19%
H20	11,751人	38人	0.32%
H21	12,948人	19人	0.15%
H22	13,413人	30人	0.22%
H23	13,758人	31人	0.23%
H24	14,531人	26人	0.18%
H25	14,972人	23人	0.15%
H26	15,344人	33人	0.22%

部位別に見た小児がん罹患数（15歳未満）

部位別に見た小児がん罹患数（15歳未満）

年	白血病	脳・神経系	悪性リンパ腫	その他	合計
H18	4	3	1	2	10
H19	3	4	2	12	21
H20	13	9	1	15	38
H21	0	5	0	14	19
H22	9	7	1	13	30
H23	10	5	3	13	31
H24	10	5	2	9	26
H25	6	4	5	8	23
H26	12	8	1	12	33

【出典：「岡山県におけるがん登録」】

2 がん医療提供体制の状況

(1) がん治療の提供体制

がん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の中心的な役割を担うがん診療連携拠点病院や、その病院に準ずる病院として、がん診療の中心的な役割を担うがん診療連携推進病院は、県南部に集中していましたが、平成 27 年 4 月に国から高梁・新見医療圏、真庭医療圏に地域がん診療病院の指定を受け、全ての二次医療圏でがん診療の中核的な役割を担う病院が整備されています。

主ながんの手術の実施状況（平成 29 年度）

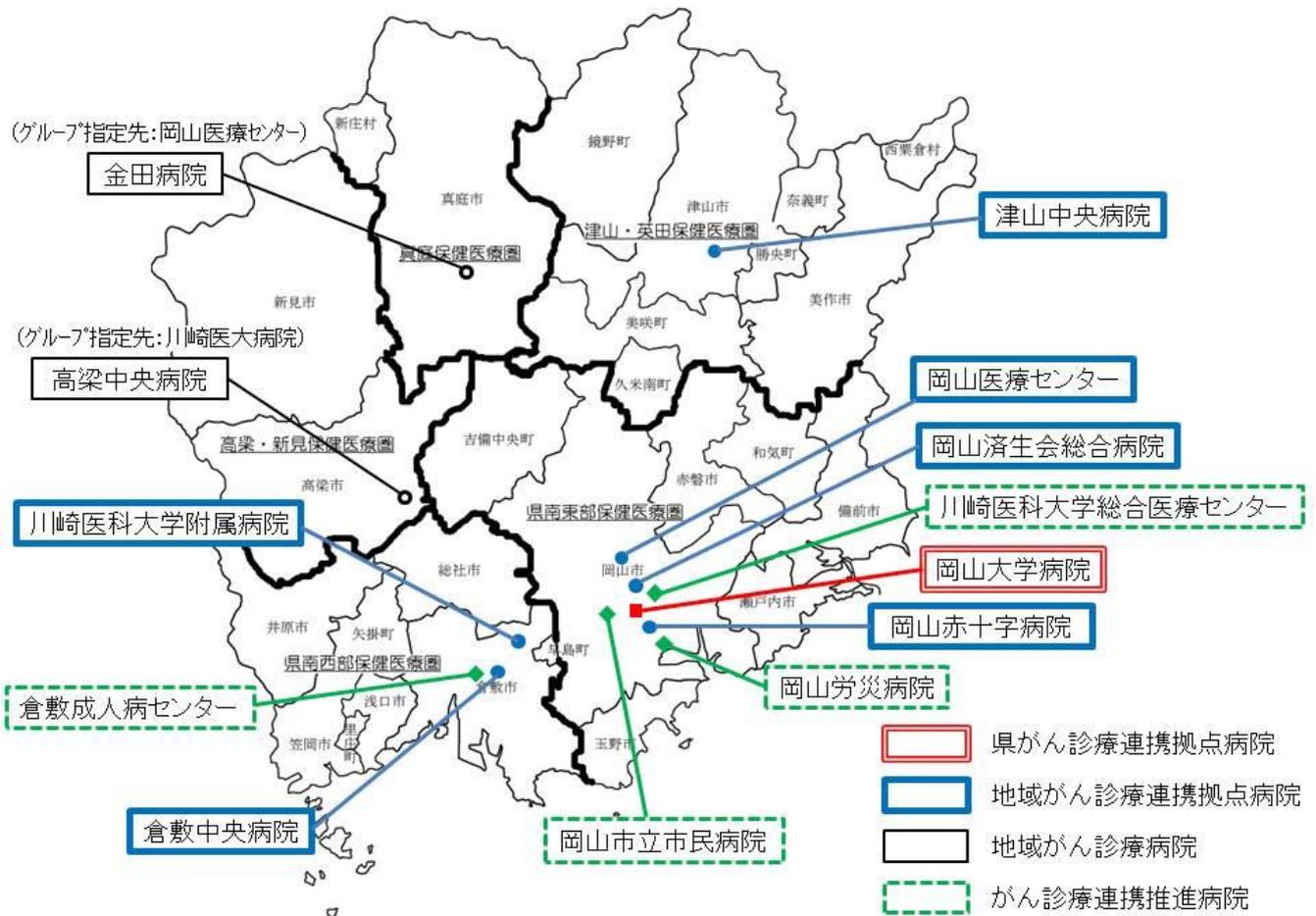
		呼吸器領域		消化器系領域		肝・胆道・膵臓領域		婦人科領域		乳腺領域	
		施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数
二 次 保 健 医 療 圏	県南東部	16	672	23	1,466	17	672	11	173	23	835
	県南西部	14	336	24	1,052	13	277	5	120	20	523
	高梁・新見	—	—	4	9	2	—	—	—	2	2
	真庭	2	—	4	19	3	3	1	—	4	1
	津山・英田	2	60	4	249	2	62	2	22	2	83
計		34	1,068	59	2,795	37	1,014	19	315	51	1,444
(平成 27 年度)		33	1,094	63	2,805	43	936	20	358	52	1,414

がん治療実施施設数（平成 29 年度）

		緩和ケア領域		放射線治療領域						外来での 化学療法
		医療用麻薬によるがん疼痛治療	がんに伴う精神症状のケア	体外照射	ガンマナイフによる 定位置照射	直線加速器による 定位放射線治療	陽子線治療	密封小線源照射	術中照射	
二 次 保 健 医 療 圏	県南東部	203	70	9	1	7	—	1	1	76
	県南西部	130	42	3	—	2	—	2	—	46
	高梁・新見	9	6	—	—	—	—	—	—	7
	真庭	15	1	—	—	—	—	—	—	5
	津山・英田	43	16	1	—	—	1	—	—	9
計		400	135	13	1	9	1	3	1	143
(平成 27 年度)		391	128	13	1	9	1	3	1	134

【出典：平成 29 年度岡山県医療機能情報】

(2) 県・地域がん診療連携拠点病院等の整備状況



二次保健医療圏	県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療病院	がん診療連携推進病院	計
県南東部	1	3		3	7
県南西部		2		1	3
高梁・新見			1		1
真庭			1		1
津山・英田		1			1
合計	1	6	2	4	13

岡山県の県・地域がん診療連携拠点病院等の体制

県がん診療連携拠点病院

岡山大学病院

【主な役割】

- がん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の構築に関し中心的な役割を担う。
- ・岡山県がん診療連携協議会の開催
- ・地域がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院等に対し、情報提供、症例相談、診療支援の実施
- ・がん医療に携わる専門的な知識、技能を有する医師、薬剤師、看護師等を対象とした研修会の実施

地域がん診療連携拠点病院

岡山済生会総合病院
岡山赤十字病院
国立病院機構岡山医療センター
倉敷中央病院
川崎医科大学附属病院
津山中央病院

【主な役割】

- 二次保健医療圏における専門的ながん診療の提供、地域の医療機関との連携協力体制の構築を担う。
- ・5大がん及び専門とするがんの集学的治療、緩和ケア、相談支援
- ・二次保健医療圏の枠を越えた協力体制による診療の均てん化

地域がん診療病院

高梁中央病院
金田病院

【主な役割】

- 拠点病院と連携し、専門的ながん医療の提供、相談支援や情報提供などの役割を担う。

高梁・新見

高梁中央病院

真庭

金田病院

津山・英田

津山中央病院

国立病院機構
岡山医療センター

岡山赤十字病院

岡山済生会
総合病院

川崎医科大学
附属病院

倉敷中央病院

労働者健康安全機構岡山労災病院

岡山市立市民病院

川崎医科大学
総合医療センター

倉敷成人病
センター

がん診療連携推進病院

労働者健康安全機構岡山労災病院
岡山市立市民病院
川崎医科大学総合医療センター
倉敷成人病センター

【主な役割】

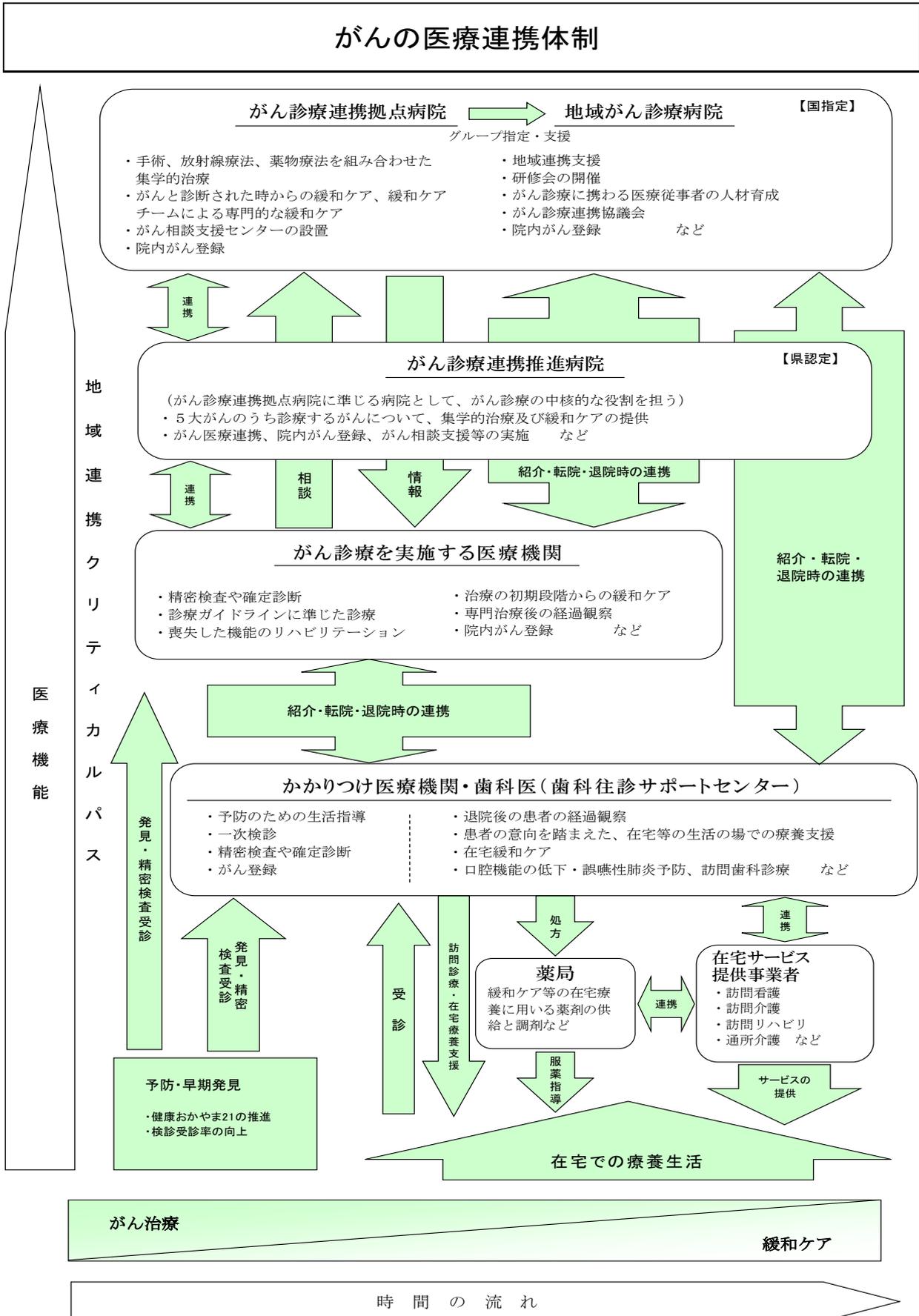
- がん診療連携拠点病院に準ずる病院として、がん診療の中核的な役割を担う。
- ・5大がんのうち診療するがんの集学的治療、緩和ケア、相談支援

県南西部

県南東部

(3) 医療機関の連携等

岡山県の目指すがん医療連携体制



3 がんの予防の状況

がんは、生活習慣・生活環境の改善により、予防できるものがあることがわかってきており、リスク要因を減らす方法として「日本人のためのがん予防法」が示されています。

本県では、喫煙問題対策の推進、肝炎対策等の推進、生活習慣の改善に重点を置き、リスク要因を減らす対策に取り組んでいます。

日本人のためのがん予防法

－現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法－

喫煙	たばこは吸わない。他人のたばこの煙を避ける。
飲酒	飲むなら、節度のある飲酒をする。
食事	偏らずバランスよくとる。
	* 塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。
	* 野菜や果物不足にならない。
	* 飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動	日常生活を活動的に。
体形	適正な範囲内に。
感染	肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。 機会があればピロリ菌感染検査を。

【出典：国立がん研究センター「科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究」研究班（2017年8月1日改訂版）】

4 がん検診の状況

がん検診は、がんの早期発見・早期治療のために行われるもので、がん対策として極めて重要です。

昭和57年に制定された老人保健法により、市町村事業として胃がん検診、子宮頸がん検診が開始され、子宮体がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診が追加拡充されました。その後、平成10年度に、がん検診の財源の地方交付税化に伴い、老人保健法から削除されましたが、平成20年度からは、改めて健康増進法に基づく事業として、市町村が実施主体となり、実施しています。

がん検診は、国の指針により、対象及び検診項目を設定し実施していますが、本県では、乳がん検診について、平成16年度に「岡山県乳がん検診指針」を策定し、この指針に基づき検診を実施しています。

平成28年2月、国の指針の改正に併せて「岡山県乳がん検診指針」を改正し、平成28年度から対象を40歳以上、マンモグラフィと視触診を毎年実施する方式としました。

また、胃がん検診については、対象を50歳以上、実施回数を2年に1回、検診項目を胃部X線または胃内視鏡検査に改めました。

○平成27年度

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
対象	国	40歳以上	40歳以上	40歳以上	20歳以上	40歳以上
	県					30歳以上
実施回数	国	1回/年	1回/年	1回/年	1回/2年	1回/2年
	県					1回/年 *2
検診項目	国	・問診 ・胃部X線	・問診 ・胸部X線 ・喀痰細胞診 *1	・問診 ・便潜血	・問診 ・視診 ・子宮頸部細胞診 ・内診	・問診 ・視触診 *3 ・乳房X線 *4
	県					

*1 問診の結果医師が必要と認める者

*2 やむを得ない場合は1回/2年

*3 30歳代：視触診単独検診(岡山方式)

*4 40歳以上：視触診及びマンモグラフィ(乳房X線検査)併用検診

○平成28年度から適用

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
対象	国	50歳以上 (ただし、当分の間、40歳以上の者に対して胃部X線検査を実施しても差し支えない)	40歳以上	40歳以上	20歳以上	40歳以上
	県					
実施回数	国	1回/2年 (ただし、当分の間、胃部X線検査に関しては逐年実施としても差し支えない)	1回/年	1回/年	1回/2年	1回/2年
	県					1回/年 *2
検診項目	国	・問診 ・胃部X線または胃内視鏡検査	・問診 ・胸部X線 ・喀痰細胞診 *1	・問診 ・便潜血	・問診 ・視診 ・子宮頸部細胞診 ・内診	・問診 ・マンモグラフィ単独 ・問診 ・マンモグラフィ+視触診
	県					

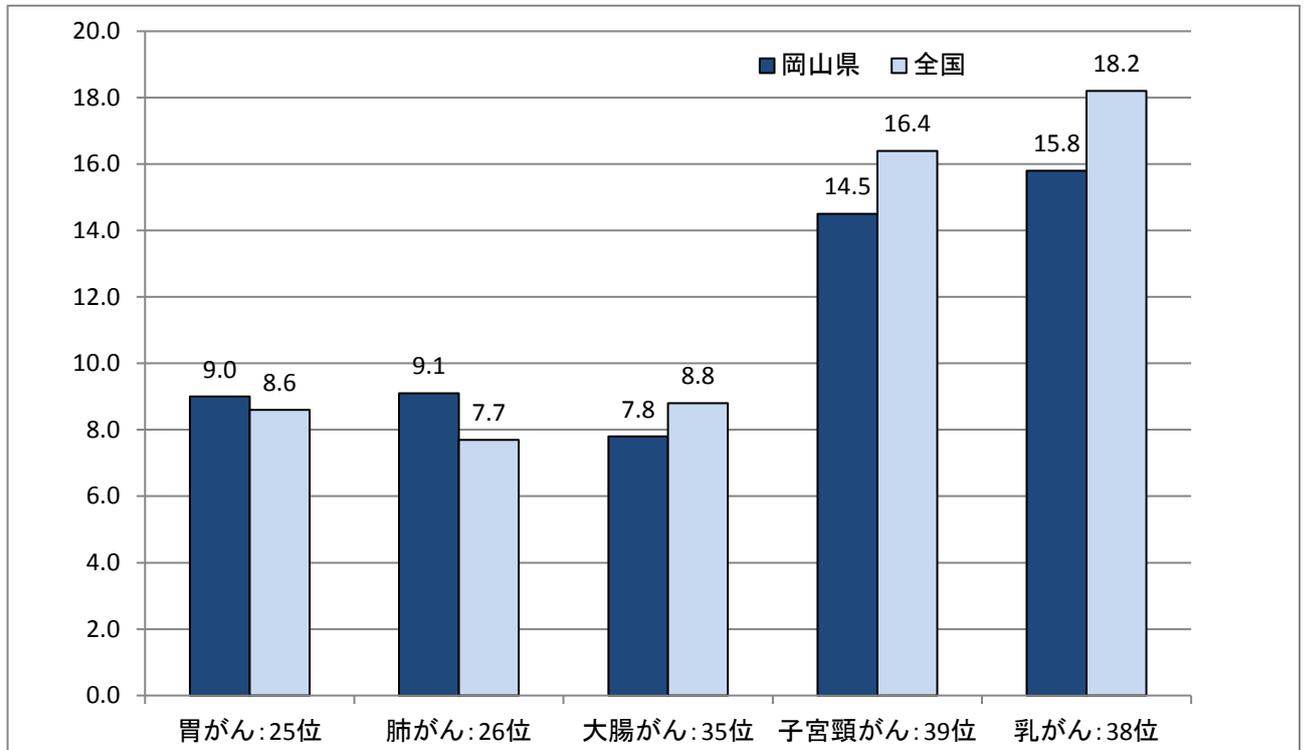
*1 問診の結果医師が必要と認める者

*2 やむを得ない場合は1回/2年

(1)―A がん検診の受診率(市町村実施分)

市町村が実施するがん検診の受診率は、胃がん、肺がんが全国より高いものの、大腸がん、子宮頸がん、乳がんが全国より低い状況になっています。

市町村が実施するがん検診の受診率及び全国との比較（平成28年度）

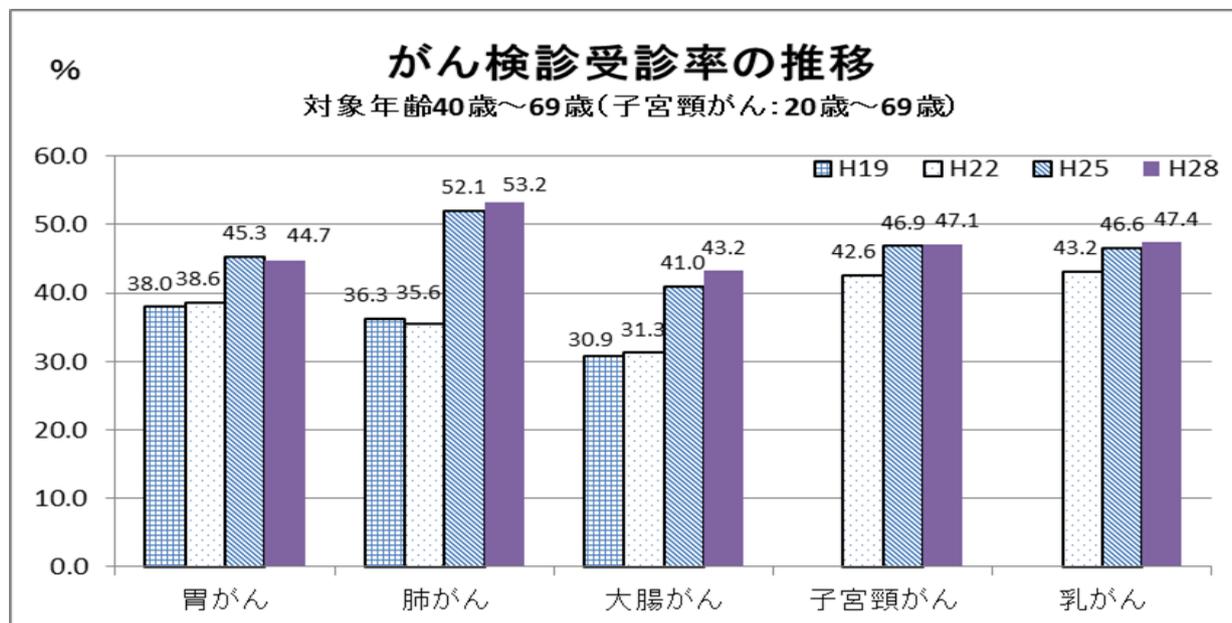


【出典：厚生労働省「平成28年度地域保健・健康増進事業報告」】

(1)―B がん検診の受診率（国民生活基礎調査による把握）

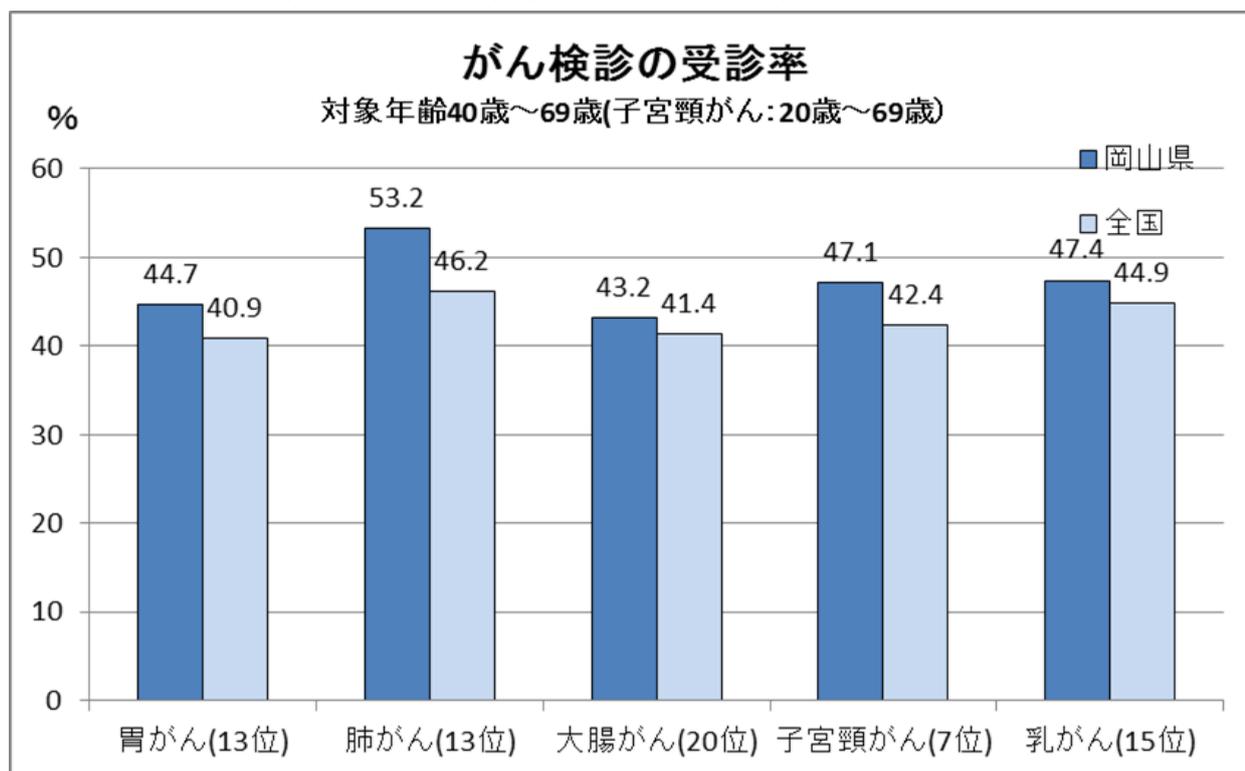
人間ドックなど自己負担での検診や、医療保険者による検診なども含めたがん検診の受診率は、全てのがんで全国より高くなっており、肺がん検診については、50%を超えています。

国民生活基礎調査によるがん検診の受診率（年次推移）



【出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」】

国民生活基礎調査によるがん検診の受診率及び全国との比較（平成28年）



【出典：厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」】

(2) がん検診の質

平成20年3月に厚生労働省が設置した「がん検診事業の評価に関する委員会」が「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の報告書をまとめ、精度管理の指針を示しています。

この中では、精検受診率^{注1}、要精検率^{注2}、がん発見率^{注3}、陽性反応適中度^{注4}等を、がん検診の質を評価するための重要な精度管理指標としており、それぞれの指標に最低限の基準である「許容値^{注5}」を示しています。

本県のがん検診は、国が提示する許容値と比較してみると、おおむね精度の高い適正な検診が行われていますが、大腸がんの要精検率、肺がん、子宮頸がん、乳がんのがん発見率、子宮頸がんの陽性反応適中度で、許容値を満たしていません。

がん検診精度管理指標の許容値と岡山県の比較

H27岡山	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん	
	岡山県	許容値	岡山県	許容値	岡山県	許容値	岡山県	許容値	岡山県	許容値
精検受診率	83.7	70%以上	83.0	70%以上	72.0	70%以上	75.7	70%以上	90.9	80%以上
要精検率	7.3	11.0%以下	0.7	3.0%以下	<u>7.2</u>	7.0%以下	1.3	1.4%以下	5.7	11.0%以下
がん発見率	0.12	0.11%以上	<u>0.02</u>	0.03%以上	0.16	0.13%以上	<u>0.01</u>	0.05%以上	<u>0.19</u>	0.23%以上
陽性反応適中度	1.6	1.0%以上	3.1	1.3%以上	2.2	1.9%以上	<u>1.1</u>	4.0%以上	3.3	2.5%以上

【出典：厚生労働省「平成28年度地域保健・健康増進事業報告」】

【各指標の計算方法】

対象年齢は、40歳～74歳まで（子宮頸がんのみ20歳～74歳まで）としている。

注1：精検受診率＝精密検査受診者数／要精密検査者数×100

注2：要精検率＝要精密検査者数／受診者数×100

注3：がん発見率＝がんであった者／受診者数×100

注4：陽性反応適中度＝がんであった者／要精密検査者数×100

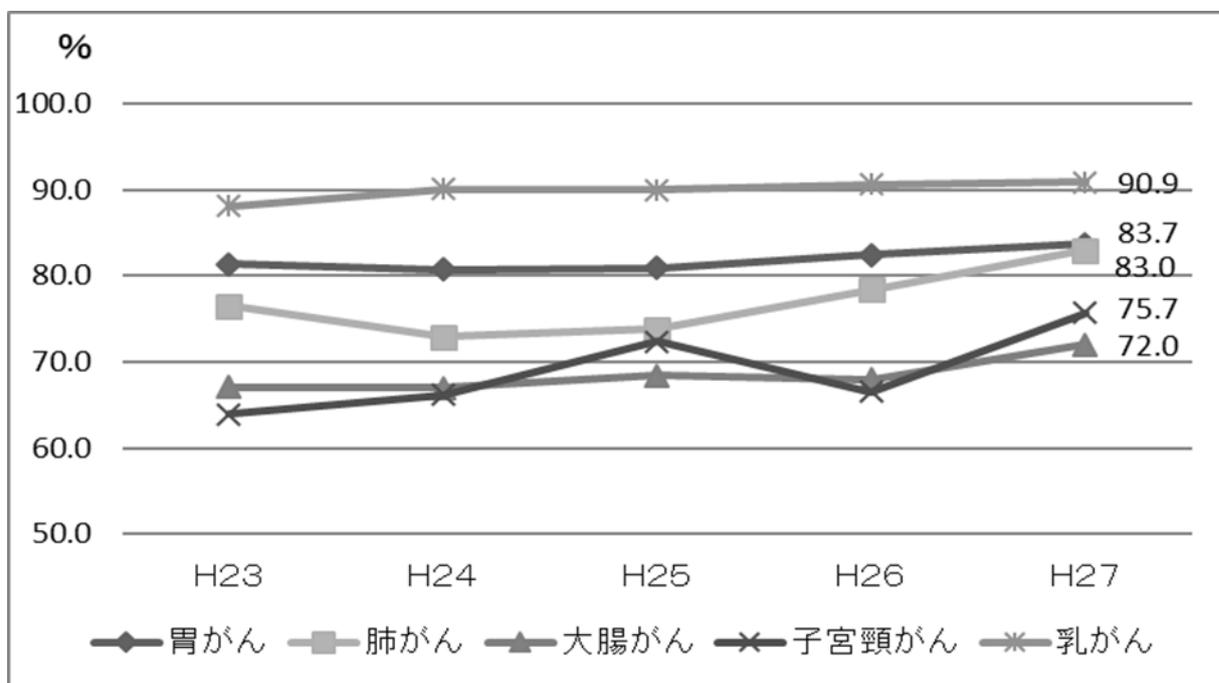
注5：許容値＝がん検診を適正に実施する上で基本的な要件である値

○精検受診率

市町村が実施するがん検診の精検受診率は、肺がん以外の4つのがんで全国より高くなっています。

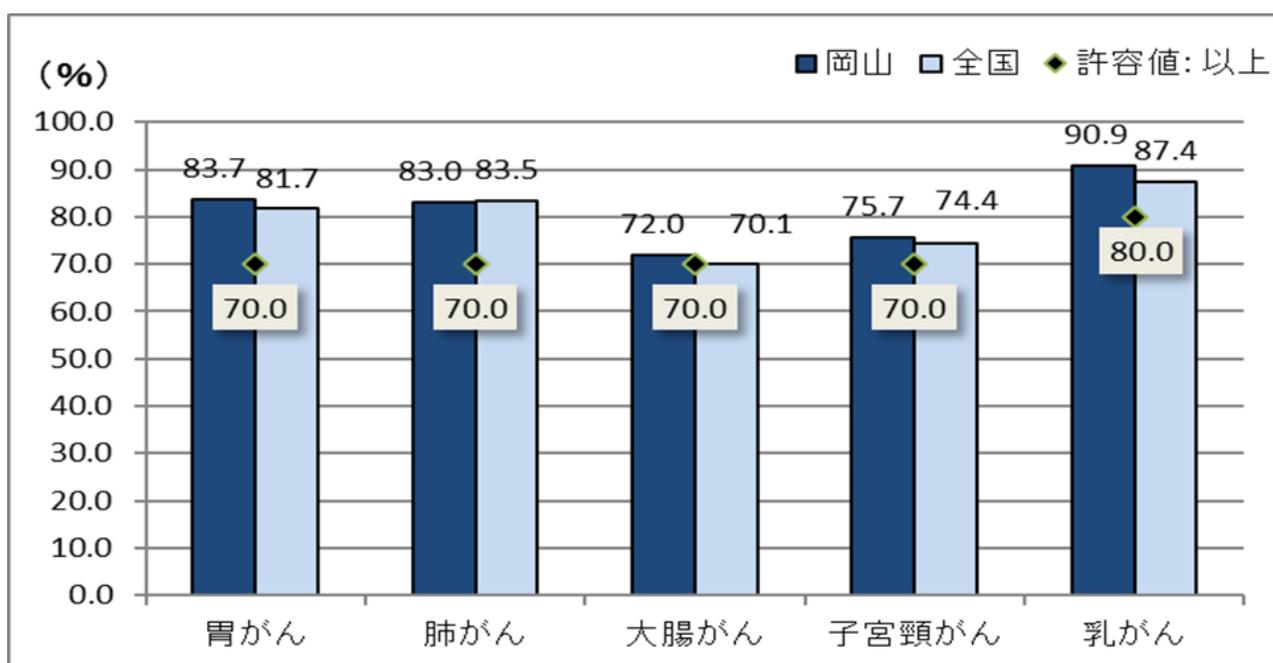
国が示す許容値と比べると全てのがんで許容値に満たしていません。

市町村が実施するがん検診の精検受診率（年次推移）



【出典：厚生労働省「地域保健・健康増進報告」】

市町村が実施するがん検診の精検受診率及び全国との比較（平成27年度）

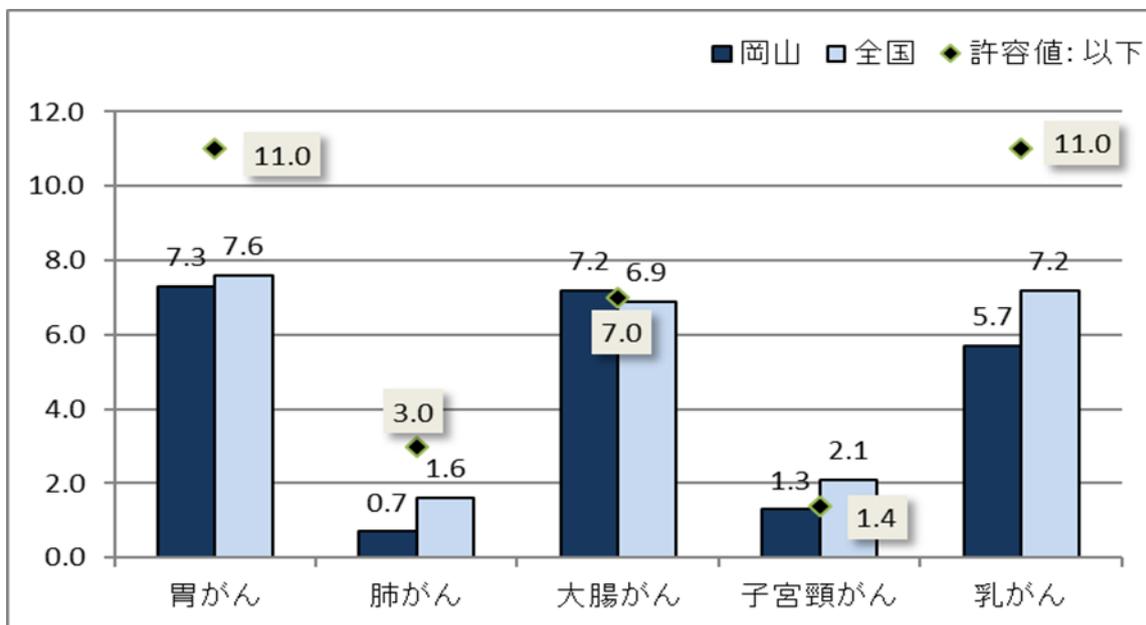


【出典：厚生労働省「平成28年度地域保健・健康増進報告」】

○要精検率

市町村が実施するがん検診の要精検率は、大腸がんを除き、全国より低い率となっていますが、大腸がんが、許容値に満たない状況です。

市町村が実施するがん検診の要精検率及び全国との比較（平成27年度）

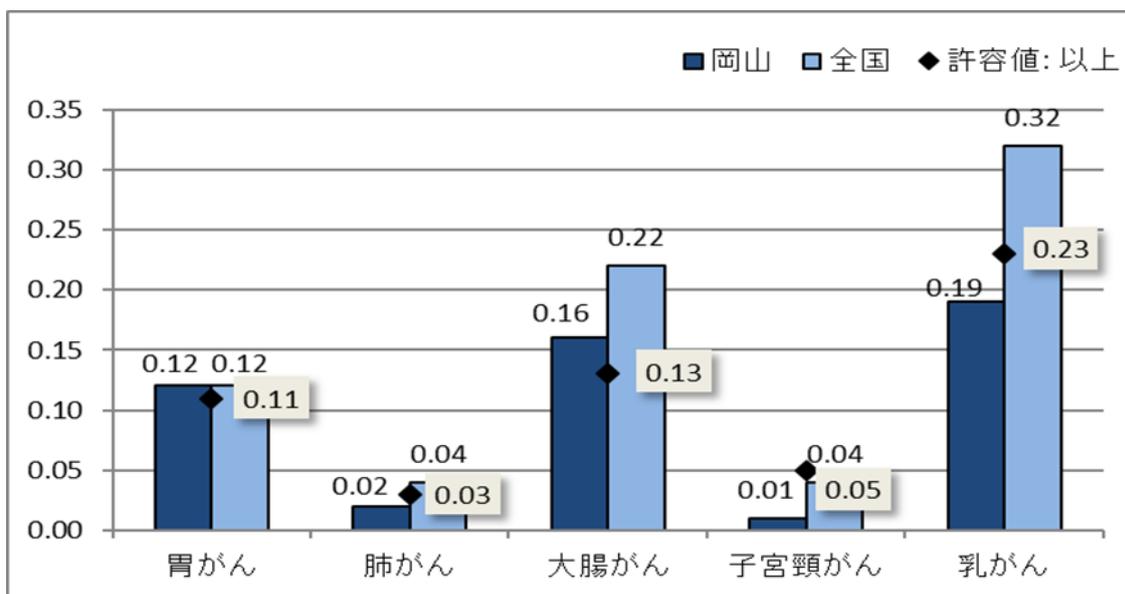


【出典：厚生労働省「平成28年度地域保健・健康増進報告」】

○がん発見率

市町村が実施するがん検診のがん発見率は、全てのがんで全国より低い率（胃がんは同率）となっていますが、胃がん、大腸がんは、許容値を満たしています。

市町村が実施するがん検診のがん発見率及び全国との比較（平成27年度）

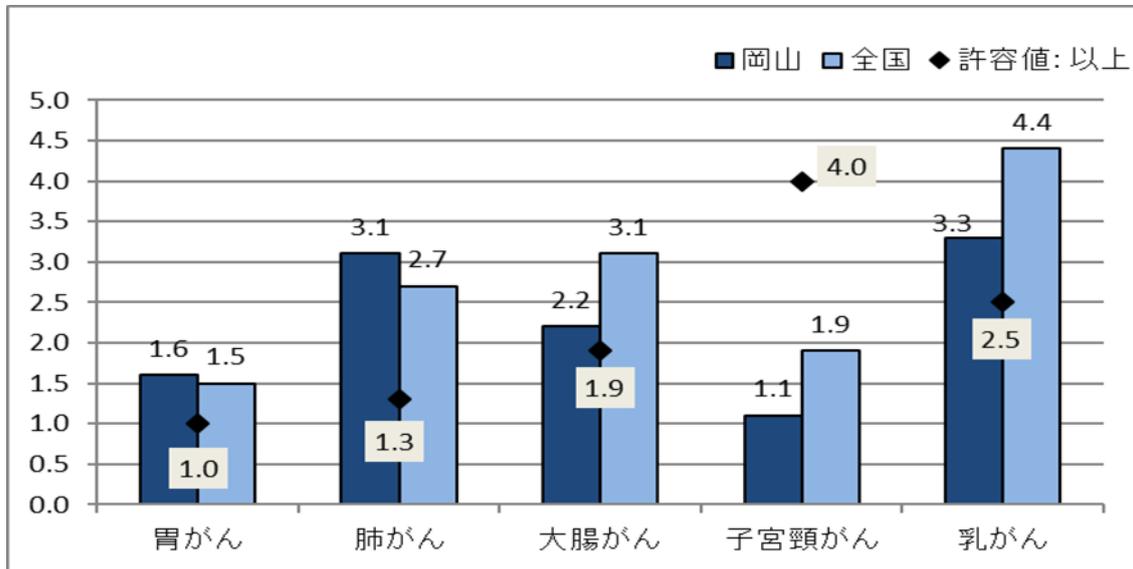


【出典：厚生労働省「平成28年度地域保健・健康増進報告」】

○陽性反応適中度

市町村が実施するがん検診の陽性反応適中度は、胃がん、肺がんを除き全国より低い率となっていますが、子宮頸がん以外は、許容値を満たしています。

市町村が実施するがん検診の陽性反応適中度及び全国との比較（平成27年度）



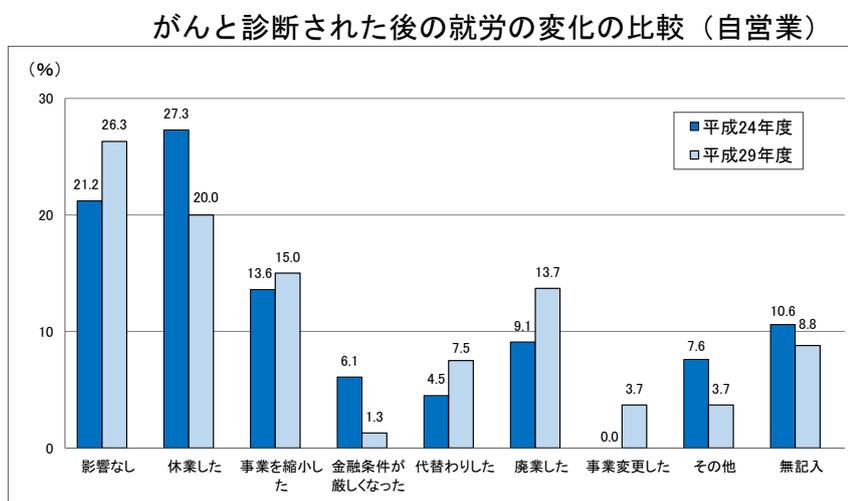
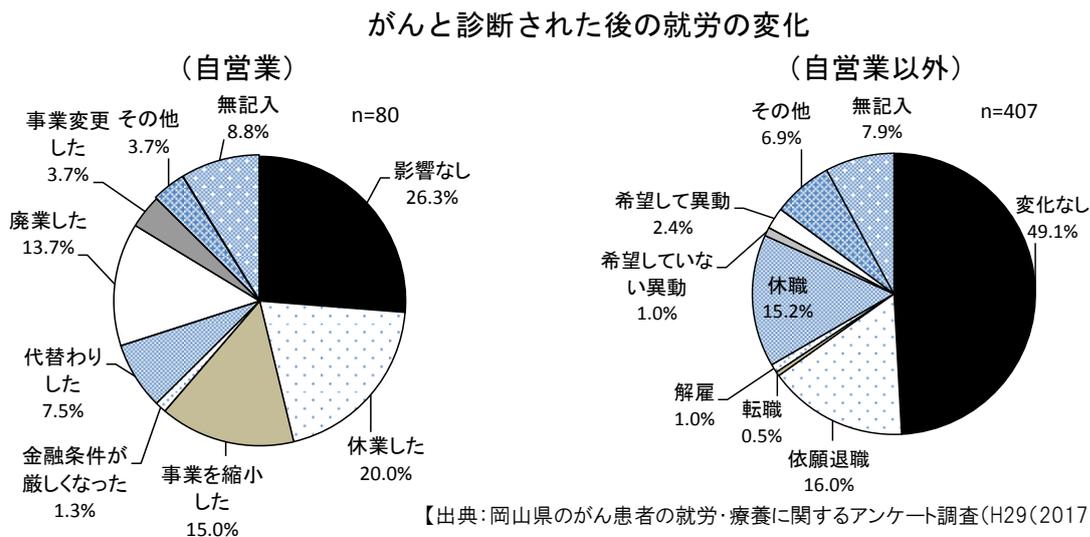
【出典：厚生労働省「平成28年度地域保健・健康増進報告」】

5 がん患者の就労と療養に関する状況

本県では、平成 29（2017）年度に、拠点病院でがん治療を受けた、若しくは受けている 20 歳以上のがん患者及びがん患者会に加入しているがん患者を対象として、平成 24 年度と同様の内容で「岡山県のがん患者の就労・療養に関するアンケート調査」（以下「就労・療養に関するアンケート調査」という。）を実施しました。

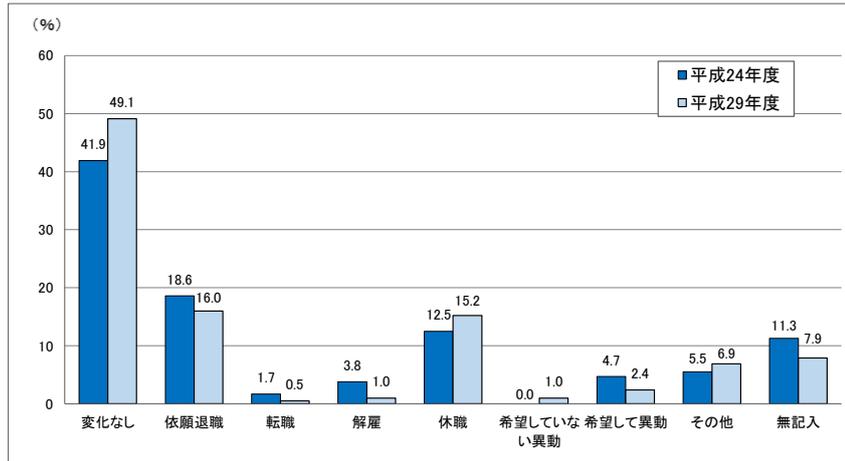
「就労・療養に関するアンケート調査」では、がんと診断された後の就労の変化について、自営業の方では、約 53%が休業や事業の縮小、廃業などの影響があったと回答しています。また、自営業以外の方では、約 35%が依願退職、休職、解雇などの影響があったと回答しています。

がん患者本人の年収を見ると、100 万円未満では、がんと診断される前は 87 人であったのに対し、がんと診断された後は 150 人とほぼ倍増しています。また、平均年収で見ると診断前は 363 万円であったのに対し、診断後は 279 万円と 84 万円減少しています。世帯全員の年収では、診断前の平均年収は 678 万円であったのに対し、診断後は 592 万円と 86 万円減少しています。



【出典：岡山県のがん患者の就労・療養に関するアンケート調査（H24（2012）・H29（2017）年度:岡山県）】

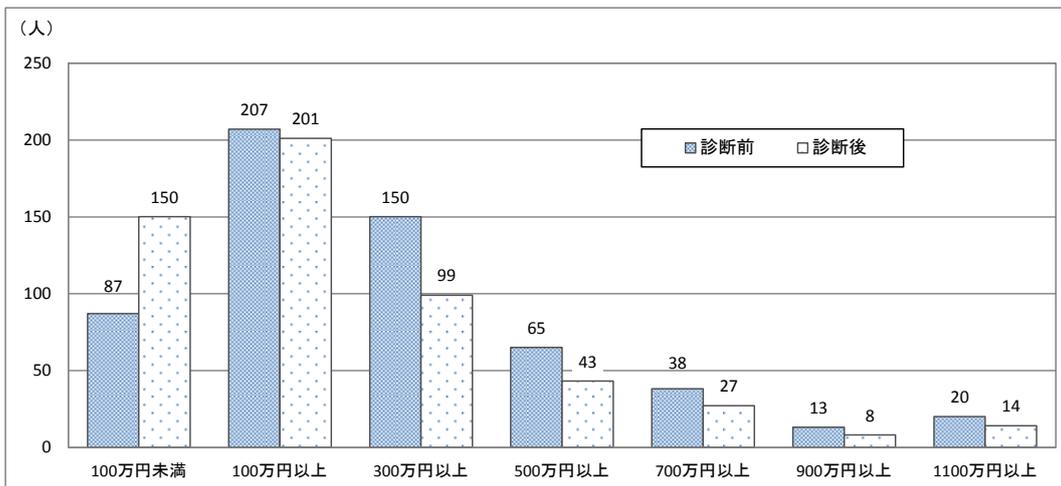
がんと診断された後の就労の変化の比較（自営業以外）



【出典：岡山県のがん患者の就労・療養に関するアンケート調査(H24(2012)・H29(2017)年度:岡山県)】

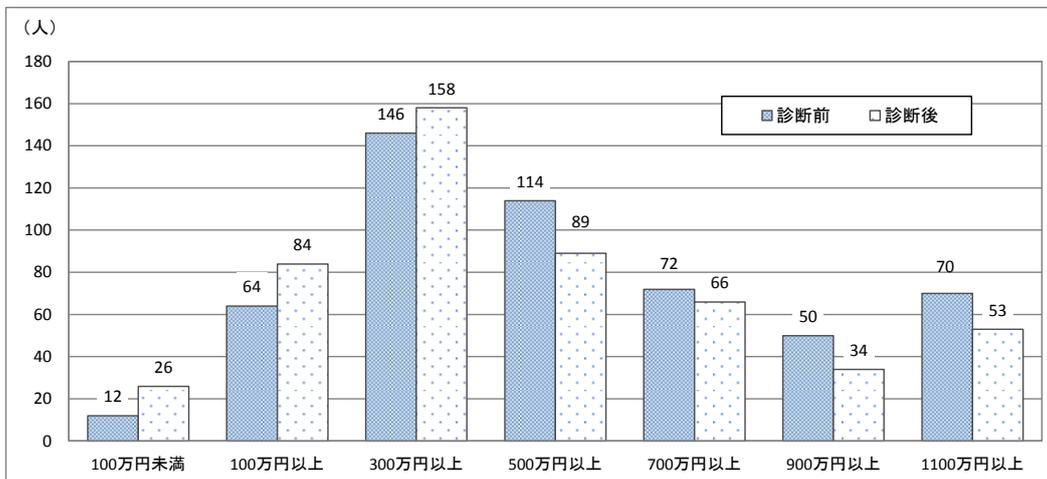
がんと診断された後の年収の変化（患者本人）

（診断前平均：363万円、診断後：279万円）



がんと診断された後の年収の変化（世帯全員）

（診断前平均：678万円、診断後：592万円）



【出典：岡山県のがん患者の就労・療養に関するアンケート調査(H29(2017)年度:岡山県)】

1 がんの死亡・罹患の状況

(1) がんによる死亡者数の推移

○主な死因による死亡者数の推移

(単位:人)

	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
悪性新生物	2,278	2,580	3,006	3,328	3,680	4,380	4,778	4,957	5,298	5,518	5,400	5,616	5,560	5,852	5,595	5,572	5,569
心疾患	1,680	1,896	2,412	2,613	3,016	2,404	2,452	2,892	2,850	3,121	3,210	3,322	3,257	3,243	3,333	3,409	3,494
肺炎	550	694	820	1,107	1,548	1,620	1,822	2,044	2,231	2,281	2,475	2,489	2,382	2,314	2,396	2,292	1,747
脳血管疾患	3,662	3,606	3,214	2,728	2,355	2,711	2,385	2,421	2,138	2,142	2,063	2,057	2,030	1,873	1,855	1,818	1,705
その他	5,705	5,089	4,567	4,582	4,744	5,428	5,470	6,114	6,431	7,186	7,259	7,697	7,970	7,769	8,346	8,441	9,089
死亡者数計	13,875	13,865	14,019	14,358	15,343	16,543	16,907	18,428	18,948	20,248	20,407	21,181	21,199	21,051	21,525	21,532	21,604

【出典：厚生労働省「人口動態統計」】

(4) がんの年齢階級別（5歳階級）死亡者の状況

○がんによる年齢階級別死亡者数（平成29年・岡山県）

(単位:人)

	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
総数	1	1	1	1	3	8	7	14	47	57	87
男	-	-	-	1	1	4	3	4	24	20	48
女	1	1	1	-	2	4	4	10	23	37	39

	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
総数	154	297	664	686	792	1008	952	598	167	24	5,569
男	80	194	446	454	514	612	513	242	58	5	3,223
女	74	103	218	232	278	396	439	356	109	19	2,346

【出典：厚生労働省「平成29年人口動態統計」】

○主な疾患等による年齢階級別死亡者の割合（平成29年・岡山県）

男性

(単位:人、%)

	総数	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
悪性新生物	3,223 (29.94)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (6.25)	1 (4.17)	4 (22.22)	3 (9.38)	4 (8.89)	24 (29.63)	20 (19.80)
心疾患	1,573 (14.61)	2 (9.09)	0 (0.00)	1 (100.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	3 (9.38)	6 (13.33)	13 (16.05)	18 (17.82)
肺炎	929 (8.63)	2 (9.09)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (2.22)	1 (1.23)	3 (2.97)
脳血管疾患	785 (7.29)	1 (4.55)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (4.44)	6 (7.41)	6 (5.94)
その他	4,254 (39.52)	17 (77.27)	4 (100.00)	0 (0.00)	15 (93.75)	23 (95.83)	14 (77.78)	26 (81.25)	32 (71.11)	37 (45.68)	54 (53.47)
計	10,764	22	4	1	16	24	18	32	45	81	101

	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
悪性新生物	48 (33.57)	80 (32.26)	194 (43.02)	446 (47.25)	454 (41.35)	514 (35.47)	612 (30.21)	513 (23.41)	242 (17.49)	58 (14.36)	5 (6.10)
心疾患	21 (14.69)	46 (18.55)	74 (16.41)	143 (15.15)	132 (12.02)	206 (14.22)	267 (13.18)	337 (15.38)	224 (16.18)	59 (14.60)	21 (25.61)
肺炎	3 (2.10)	5 (2.02)	11 (2.44)	36 (3.81)	65 (5.92)	100 (6.90)	174 (8.59)	252 (11.50)	212 (15.32)	57 (14.11)	7 (8.54)
脳血管疾患	10 (6.99)	20 (8.06)	32 (7.10)	61 (6.46)	78 (7.10)	122 (8.42)	162 (8.00)	164 (7.49)	97 (7.01)	22 (5.45)	2 (2.44)
その他	61 (42.66)	97 (39.11)	140 (31.04)	258 (27.33)	369 (33.61)	507 (34.99)	811 (40.03)	925 (42.22)	609 (44.00)	208 (51.49)	47 (57.32)
計	143	248	451	944	1,098	1,449	2,026	2,191	1,384	404	82

女性 (単位:人、%)

	総数	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
悪性新生物	2,346 (21.79)	1 (4.55)	1 (25.00)	1 (100.00)	0 (0.00)	2 (8.33)	4 (22.22)	4 (12.50)	10 (22.22)	23 (28.40)	37 (36.63)
心疾患	1,921 (17.85)	1 (4.55)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (4.17)	0 (0.00)	2 (6.25)	2 (4.44)	0 (0.00)	5 (4.95)
肺炎	818 (7.60)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (3.13)	0 (0.00)	1 (1.23)	0 (0.00)
脳血管疾患	920 (8.55)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (6.25)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (4.44)	5 (6.17)	5 (4.95)
その他	4,835 (44.92)	7 (31.82)	2 (50.00)	0 (0.00)	3 (18.75)	4 (16.67)	2 (11.11)	7 (21.88)	11 (24.44)	10 (12.35)	19 (18.81)
計	10,840	9	3	1	4	7	6	14	25	39	66

	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
悪性新生物	39 (27.27)	74 (29.84)	103 (22.84)	218 (23.09)	232 (21.13)	278 (19.19)	396 (19.55)	439 (20.04)	356 (25.72)	109 (26.98)	19 (23.17)
心疾患	8 (5.59)	9 (3.63)	18 (3.99)	41 (4.34)	64 (5.83)	139 (9.59)	229 (11.30)	477 (21.77)	512 (36.99)	319 (78.96)	94 (114.63)
肺炎	0 (0.00)	1 (0.40)	5 (1.11)	12 (1.27)	22 (2.00)	43 (2.97)	90 (4.44)	208 (9.49)	244 (17.63)	159 (39.36)	32 (39.02)
脳血管疾患	8 (5.59)	9 (3.63)	11 (2.44)	30 (3.18)	27 (2.46)	72 (4.97)	117 (5.77)	226 (10.31)	240 (17.34)	141 (34.90)	26 (31.71)
その他	26 (18.18)	25 (10.08)	53 (11.75)	140 (14.83)	169 (15.39)	297 (20.50)	600 (29.62)	1,052 (48.01)	1,236 (89.31)	857 (212.13)	315 (384.15)
計	81	118	190	441	514	829	1,432	2,402	2,588	1,585	486

【出典：厚生労働省「平成29年人口動態統計」】

(5) がんの死亡率の推移

○性別死亡率の推移

男性 (人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
粗死亡率(岡山県)	213.2	238.6	277.7	306.8	322.8	352.6	352.1	366.4	360.9	377.3	364.7	361.1	355.0
粗死亡率(全国)	187.4	216.4	262	291.3	319.1	343.4	346.9	350.8	354.6	357.8	359.7	361.1	363.2
年齢調整死亡率(岡山県)	201.1	198.6	206.9	198.2	179	172.2	166.3	167.4	162	165.2	156.7	155.5	143
年齢調整死亡率(全国)	214.8	215.6	226.1	214	197.7	182.4	179.4	175.7	172.5	168.9	165.3	161.7	157.5

女性 (人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
粗死亡率(岡山県)	137.1	148.7	178.2	190.9	192.8	225.3	215.1	224.5	225.7	241.8	228.4	231.7	239.1
粗死亡率(全国)	125.9	139.3	163.1	181.4	200.3	219.2	222.7	225.7	229.2	232.5	232.8	238.8	239.1
年齢調整死亡率(岡山県)	103.7	97.8	102.1	96.9	82.8	84.8	77.5	83.3	81.4	83.5	75.2	75.4	78.1
年齢調整死亡率(全国)	113.1	107.7	108.3	103.5	97.3	92.2	91.8	90.3	89.7	89.4	87.7	87.3	85.0

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

(7) がんの性別・部位別年齢調整死亡率

○全がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	201.1	198.6	206.9	198.2	179	172.2	166.3	167.4	162	165.2	156.7	150.4	143.0
全国	214.8	215.6	226.1	214	197.7	182.4	179.4	175.7	172.5	168.9	165.3	161.7	157.5

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	103.7	97.8	102.1	96.9	82.8	84.8	77.5	83.3	81.4	83.5	75.2	76	78.1
全国	113.1	107.7	108.3	103.5	97.3	92.2	91.8	90.3	89.7	89.4	87.7	87.3	85.0

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○肺がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	43.2	42.2	44.9	44.7	42.1	41.9	40.5	41.3	40.5	40.5	38.3	37.5	34.3
全国	41.2	45	47.5	46.3	44.6	42.4	41.7	41	40.4	39.7	39.2	37.6	36.8

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	11.1	9.8	12.4	10.6	10.1	10.9	8.3	9.8	8.9	10.2	9	9.3	9
全国	11.2	11.6	12.5	12.3	11.7	11.5	11.4	11.4	11.4	11.4	11.1	11	10.3

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○胃がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	48.5	43.1	41.4	32	27.6	25.5	23.5	24.4	22.2	22.3	20.1	19.6	17.9
全国	58.7	49.5	45.4	39.1	32.7	28.2	27.4	26.1	25.2	24.1	22.9	21.6	20.9

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	24.8	20.1	17.6	16.3	10.6	9.2	9.2	10	9.1	9	7.8	7.6	6.8
全国	27.4	21.6	18.5	15.3	12.5	10.2	9.9	9.6	9.2	9	8.3	8	7.6

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○肝臓がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	27.7	30.9	36.2	29.2	25.1	20.4	18.6	17.3	17.8	18.3	15.2	13.9	14.1
全国	25.7	28.4	31.6	28.2	23.7	19	18	16.7	16	15	14.5	13.7	12.8

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	6.4	7.2	11.6	7.9	8.2	6.9	7	5.8	5.6	5.8	4.3	5	4.4
全国	7.5	7.8	9.1	8.8	7.7	6.4	6	5.6	5.2	5.1	4.6	4.6	4

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○大腸がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	17.3	17.9	18.2	20.5	18.1	18.4	17.5	17.1	16.8	17.5	18	16.1	15.9
全国	19.6	21.9	24.4	23.7	22.4	21	21.4	21.4	21.1	21	21	20.7	20.5

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	11.9	12.5	13.6	11.7	10.6	9.2	8.9	10.5	10.2	11.1	9.1	9.8	9.6
全国	13	13.8	14.1	13.6	13.2	12.1	12.1	12.3	12.2	12.3	12.2	12	11.8

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○女性のがんの年齢調整死亡率の推移

乳がん

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	6.8	6.7	8.2	9.7	8.1	11.7	10.9	11	12.5	10.8	9.3	9.3	11.2
全国	7.6	8.2	9.9	10.7	11.4	11.9	12.1	11.5	12	11.8	12	12.2	12.2

子宮がん

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	7.3	4.6	4	4.6	3.1	3	4.1	4.4	4.5	4.6	4.7	4.4	5.6
全国	7.3	5.8	5.4	5.3	5.1	5.3	5.4	5.4	5.3	5.7	5.6	5.5	5.6

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○膵臓がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	11.4	11.5	11	12.1	11.3	12.9	14.8	13.8	11.7	13.7	11.6	13.9	13.1
全国	11.5	12.1	12.7	12.4	12.6	13	13	13.3	13.3	13.3	12.8	13.3	13.2

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岡山県	6.8	7	6.8	6.3	7.6	8.3	7.8	8.3	8	8.4	8.6	8.2	7.7
全国	6.5	7.1	7	7.2	7.5	8.2	8.4	8.4	8.4	8.5	8.4	8.6	8.7

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

(8) がんの75歳未満年齢調整死亡率

○性別都道府県別75歳未満年齢調整死亡率（平成29年）

男性

（人口10万対）

長野	78.0	静岡	86.4	群馬	90.0	茨城	94.7	大阪	99.8
福井	79.6	岐阜	86.5	石川	90.2	島根	95.0	福岡	102.8
山梨	80.3	京都	87.2	東京	90.2	新潟	95.6	岩手	103.6
三重	82.2	神奈川	87.7	鹿児島	90.2	長崎	95.7	和歌山	105.3
熊本	84.4	埼玉	88.2	広島	90.7	宮崎	95.7	北海道	105.5
沖縄	84.5	奈良	88.6	千葉	91.3	栃木	96.6	鳥取	107.4
滋賀	84.7	宮城	88.8	愛知	91.5	愛媛	97.1	秋田	110.9
岡山	84.8	富山	89.5	全国	92.5	福島	97.2	青森	115.0
大分	85.7	徳島	89.8	兵庫	93.0	山口	97.6		
香川	86.2	山形	89.9	高知	94.4	佐賀	99.4		

女性

（人口10万対）

滋賀	44.7	岡山	52.5	福井	54.6	全国	56.4	福島	60.0
奈良	49.2	島根	52.6	京都	54.9	宮城	56.8	福岡	60.4
富山	50.0	長野	52.9	愛知	54.9	宮崎	57.5	岩手	60.5
徳島	50.1	大分	52.9	山梨	55.5	大阪	57.6	佐賀	63.7
香川	50.1	沖縄	53.0	山口	55.6	埼玉	57.7	長崎	63.7
山形	50.1	熊本	53.6	兵庫	55.8	岐阜	58.3	鳥取	65.8
鹿児島	51.4	和歌山	53.6	愛媛	55.9	茨城	59.1	北海道	66.1
広島	51.5	三重	53.8	東京	56.0	秋田	59.3	青森	66.4
高知	51.8	群馬	53.8	神奈川	56.2	栃木	59.5		
静岡	52.0	石川	54.5	千葉	56.3	新潟	59.9		

【出典：国立がん研究センターがん対策情報センター】

(11) がんの罹患率

○男性の年齢階級別罹患率（平成 26 年）

（人口 10 万対）									
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44
肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	6.5	5.8
胃	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	1.9	8.1	10.1
大腸	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	4.2	5.7	12.9	25.9
前立腺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肝臓	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	7.2
	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
肺	24.8	40.0	120.1	183.2	313.9	400.6	515.1	653.1	689.2
胃	24.8	43.9	116.5	206.5	322.5	464.4	621.0	628.9	677.5
大腸	55.0	133.5	157.8	217.4	355.4	421.9	486.9	495.9	541.3
前立腺	1.8	30.5	64.5	164.6	351.1	535.4	606.9	523.1	463.4
肝臓	10.6	34.3	50.2	87.0	113.2	157.8	188.2	208.6	183.0

【出典：「岡山県におけるがん登録 2014」】

○女性の年齢階級別罹患率（平成 26 年）

（人口 10 万対）									
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44
大腸	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	5.7	8.1	27.3
胃	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	1.9	9.7	12.9
肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	1.6	4.3
肝臓	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	1.4
乳房	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	22.8	61.7	119.3
子宮	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	62.1	112.1	123.5	120.7
	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
大腸	43.2	62.0	84.4	130.0	174.1	225.5	235.3	278.9	304.2
胃	19.0	27.4	48.2	53.2	124.9	165.2	162.3	237.1	236.6
肺	15.5	23.7	44.8	63.5	103.7	154.4	180.5	157.4	159.3
肝臓	1.7	7.3	6.9	25.1	27.9	47.9	72.9	109.6	98.2
乳房	259.0	206.1	201.5	192.1	240.6	206.9	169.6	145.4	99.8
子宮	95.0	71.1	87.8	54.7	77.1	61.8	51.1	61.8	48.3

【出典：「岡山県におけるがん登録 2014」】

4 がん検診の状況

(1) がん検診の受診率

○市町村が実施するがん検診の受診率（年次推移）

(%)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
胃がん	16.8	15.8	15.3	15.2	14.2	8.0	9.0
肺がん	31.7	29.9	28.9	26.1	26.0	14.7	9.1
大腸がん	22.7	22.5	22.4	21.3	20.8	14.4	7.8
子宮頸がん	23.1	24.9	24.4	34.4	33.2	22.9	14.5
乳がん	22.2	18.1	17.7	29.6	28.5	21.9	15.8

【出典：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」】

(2) がん検診の質

○市町村が実施するがん検診の精検受診率（年次推移）

(%)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
胃がん	78.0	79.9	81.4	80.7	80.9	82.4	83.7
肺がん	75.3	73.8	76.5	72.9	73.8	78.4	83.0
大腸がん	68.0	68.4	67.1	67.0	68.4	68.0	72.0
子宮がん	69.6	65.5	63.9	66.2	72.4	66.5	75.7
乳がん	86.0	81.8	88.1	90.1	90.0	90.6	90.9

【出典：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」】